

心理専門職が 身につける「力」

～求められる専門性とは？～

長谷川明弘

東洋英和女学院大学

www.hasegawa-akihiro.com

20020813
20041002
20060114
20070308
20160619
20181107

「臨床心理学」とは？

- 臨床Clinical とは
 - 語源はギリシア語でklinikos (κλινικ)
 - 元来は、寝台(ベッド)を意味していた。その後、ベッドサイドで死の床にいる人の傍らに立ち、その人を送り出す役割を担った人の行為を意味するようになった。この行為は、能動的な働きかけではなく、どちらかという受動的な意味合いが強い。その後、医療用語として使用され心理学でも用いられるようになった。
- 心理学者の専門活動が社会に対する説明責任を問われるようになった時代背景から発展
 - 実践活動に重点があったが研究活動も重視
 - 実践性と科学性の両立が求められる

2

臨床心理学の定義

- 臨床心理学は、心理学の一分野であり、心理学の知見を個人や家族や組織、地域といった支援対象が有効に機能していくことを狙って実用的に用いる

臨床心理学の専門家

1. 面接を主とし、その他に実験や調査によって、データを集めて実証していこうとする科学的な方法論に基づいた実践を行う姿勢
2. 対人支援の現場で触発される直観や技術を適用する技巧性を併せ持つ
3. 支援対象者つまり利用者にとって役に立つサービス提供を行う対人支援専門職

臨床心理学の方法・手法

- 事例研究法という「個」の特徴から一般化
- 実験法や調査法によって集められた「量」のあるデータを統計解析によって法則性
- 臨床心理学の専門家の活動内容
 - － 心理学的介入あるいは心理療法
 - － 心理アセスメント
 - － 知識や技能を教えること
 - － 研究・調査
 - － コンサルテーション
 - － 自己・個人・集団・地域の管理・運用
 - － スーパービジョン

臨床心理学の専門家の 役割と特徴

1. 個人や家族、組織内外や地域で人間の能力を、機能的に発揮するために心理学の知見と心理学に基づいた技法の開発と研究そして人間行動について予測
2. 人間の機能に影響を及ぼしている変数を抽出し測定
3. 個人の独自性を尊重
4. 個人や組織が本来有しているであろう能力や機能が発揮できるように支援
5. 心理学的な知見や法則を伝えること

6

「臨床心理学」の歴史

- 黎明期
 - 起源は、宗教、医療、哲学との区別が出来ないくらい古い
 - 催眠、麻酔薬
 - 1879年 Wundtがドイツライプツィヒ大学にて心理学実験室の設置
- 1896年 Witmer, L.(1867-1956)がアメリカ・ペンシルベニア大学に世界最初の心理学的なクリニックを創設した。「臨床心理学」という呼称を初めて使用した。
 - 心理学の知見を社会的活動に貢献しようとした
- 1900年頃 学派に固執、排他的
 - 第一次世界大戦、第二次世界大戦
 - 社会実用性からみて心理学が医療、教育発達症への対応
- 1960年前後 臨床経験が蓄積され、養成制度が充実
- 1990年前後 学派理論離れ、専門職として位置づけられる
 - ユーザーの役に立つこと
 - コーパス・ベースド
 - ガイドラインの作成

7

臨床心理学を始めた人

- 1896年にウィットマー(Lightner Witmer ; 1867-1956)は世界最初の心理学的クリニック (Psychological Clinic)をペンシルベニア大学に設置し、臨床心理学(Clinical Psychology)という呼称を初めて使用した。
- 1907年に、ウィットマーは心理学的クリニック雑誌 (The Psychological Clinic)を創刊した。
 - － 創刊号には、臨床心理学の説明と定義を示した。その中で臨床(clinical)を医学の用語から転用し、臨床心理学が医学に加えて社会学や教育学と密接な関係にあることを述べている(Witmer, 1907)。

8

臨床心理学が生まれた理由

- 臨床心理学は、心理学者の専門活動が社会に対する説明責任を問われるようになった時代背景から発展してきた
- 科学者・実践家モデル(Scientist-Practitioner Model)
 - － 臨床心理学の専門職を訓練・養成する課程で、科学的な素養や研究法と臨床実践技能を統合的に習得することを目指す

9

臨床心理学の位置づけ

- 心理学は自然科学をモデルにして発展
 - 自然科学の要素
 - 客観性、論理性、法則性(普遍性)、再現性
- 臨床心理学は実践性を追求して発展
 - 実践は、自然科学でもなく人文科学でもない
 - 心理学者の専門活動が社会に対する説明責任を問われるようになった時代背景から発展
 - 実践の要素
 - 対象性、関与性、関係性、個別性
- 研究対象を客観的に位置づける一方で対象と関わる形態、つまり実践によってデータ収集

10

臨床心理学が生まれた歴史

- ・ 起源は、宗教、医療、哲学との区別が出来ないくらい古い、
- ・ 1879年ヴント(Wilhelm Maximilian Wundt, 1832-1920)がドイツのライプツヒ大学にて心理学実験室を創設した。科学としての心理学が成立した
- ・ 1886年にヴントの元で「心理測定の究明(Psychometric Investigation)」という題目によってアメリカ人として初めて心理学領域で学位を取得したキャッテル(James McKeen Cattell, 1860-1944)は、1889年にペンシルベニア大学の心理学教授に着任した。

11

臨床心理学が生まれた歴史

- ・ ウィットマーは、1890年前後、歴史と英語をラグビーアカデミーという男子校で教えていた
 - さらに、文学への関心を抱いていたが聞き取りが苦手な成績を挙げられない生徒が在籍
 - 教師であるウィットマーが生徒を支援
 - 生徒は苦手を聞き取りを見解して大学への進学
- ・ ウィットマーは、キャッテルの講義を受講して心理学への興味を強め、実験心理学の分野にも参与すると決めた。
- ・ ウィットマーはラグビーアカデミーを退職してキャッテルから指導を受ける学生となった

12

臨床心理学が生まれた歴史

- ・ キャッテルとウィットマーは、個人差を取り上げて共同研究を行った。
 - 1891年にウィットマーはドイツに赴いて、キャッテルが指導を受けたライプツヒ大学にいたヴントの元へと拠点を移した
 - 1892年にウィットマーは博士号を得た
- ・ 1892年にウィットマーはペンシルベニア大学へ戻り、心理学研究室の主任になり、児童心理学を教えたり、知覚の個人差といった実験心理学の論文を発表
 - 丁度、ニューヨークにあるコロンビア大学へ転出したキャッテルと入れ違い

13

日本において臨床心理学の専門職が 社会責任を伴う過程

- ・ 1960年前後から臨床心理学に関する学会で国家資格化が議論
- ・ 1988年(昭和63年)臨床心理士資格が出来る
 - 日本臨床心理士資格認定協会
 - 「臨床心理士」資格認定開始
- ・ 1997年(平成9年)指定校制度開始
 - 全国で161大学院が認定協会から指定(平成22年10月1日現在)
 - 資格認定協会指定の大学院修士課程修了
 - **寛政室知立学園大学大学院**は1種指定校
- ・ 2005年(平成17年)専門職大学院が設置
- ・ 2014年(平成26年)6月16日衆議院法務局に公認心理師法案が提出されたが年末の衆議院解散により廃案。
- ・ 2015年(平成27年)7月8日に公認心理師法案提出(9月2日に撤回)
- ・ 2015年(平成27年)9月2日に文部科学委員長から法案提出。
- ・ 2015年(平成27年)9月9日に公認心理師法成立
- ・ 2015年(平成27年)9月16日公認心理師法公布

14

心のケアに関する出来事

- ・ 1994:愛知でのいじめ自殺事件
- ・ 1995:スクールカウンセラー制度
- ・ 1995/1/17:阪神淡路大震災
- ・ 2001/6/8:大阪教育大付属池田小で児童殺害殺傷事件
 - シュルツァーチーム発起して心のケア担当
- ・ 2004/10/23:新潟県中越地震
 - 新潟県から救命医療の後に全国の都道府県へ精神科医師らの派遣を要請。心のケアが本格化。
- ・ 2011/3/11:東日本大震災
 - 心のケアの支援があった。平時からの準備と、事態発生時の統括体制の重要性が明確になった
- ・ 2013/4/1:厚生労働省が都道府県に災害派遣精神医療チーム(DPAT)の整備を要請
- ・ 2016/4/14:熊本地震
 - 被災地に入ったDPATが精神疾患の患者転院を担当

15

臨床心理学を活かした 仕事に就く過程

- ・ 心理学を専攻して大学を卒業する
 - 「認定心理士」という資格を得ることができる大学を薦める
 - 公務員などで心理学を専門とする仕事に就く
 - ・ 家庭裁判所調査官、法務教官など
- ・ 臨床心理学を専門とする大学院を修了する
 - 「臨床心理士」という資格を受験する要件を満たす指定校大学院へ進学する
- ・ 2015年9月9日に「公認心理師法」が成立
 - 心理学を専門とする国家資格が初めてできた
 - 取得要件は、2017年には明示された
 - 2018年度から養成開始

16

客観は主観があって体现できる

- ・ 「物語を聞くときには、その物語を最初に認識した知能と同条件の手順で、受け手に情報が与えられることが大切だと思ふの、それがつまり、情報の共有には最適な方法だわ」
- ・ 「臨場感を重視する、と？」
- ・ 「いいえ、そうじゃなくて、逆です」
- ・ 「逆という、もっと客観的な立場から、物語を見るということですか？」
- ・ 「ええ」彼女は頷いた。
- ・ 「よくわからないけど……、どうして、順番を読むことが客観性に必要なんです？」
- ・ 「客観というのはね、つまり主観の裏返しなんです。客観だけで存在するものではありません。主観があって、初めて体験できる感覚なの。したがって、思いっきり主観的な情報入力を通してこそ、私たちの視点は高く駆け上がる事ができる、というわけ。ほら、ジャンプするときだって、まず膝を折って、1度は小さくなるでしょう？」
- ・ 「珍しい比喻ですね」私は聞きながら微笑んだ。

森博嗣 朽ちる散る落ちる(Rot off and Drop away) 講談社
プロローグ 朽ちる散る落ちる(Rot off and Drop away)の会話を引用

17

不思議だなと思いつける意義

- ・ 世の中には……、否、身の回りに、不思議だな、と感じることが沢山ある。けれど、それらはすべて、限られた情報から無理に類推された思い込みがその中心にあって、その最初の小さな間違いが原因だ。つまりは、何らかの正当な理由がある場合が多い。結局のところ、本当は不思議でもなんでも無い。
- ・ もし、不思議だなと思わなければ、何ごとも無かったのと同じだし、不思議だと思えば、それはいずれ解かれるだろう。少なくとも不思議だと思いつければ、いずれは解決する。水精君はそう思うのである。
- ・ 森博嗣 2004 工学部・水精助教授の日常 幻冬舎文庫,p57-58

物事には 説明ができる理由があるってことなの

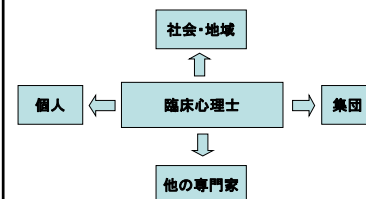
- 私たちって、理由のないものを受け入れない文化に染まっているのよ。最近になってまた気づいたんだけど、これって、ギリシャ哲学とか、ヨーロッパ哲学の系列なのよね。そういうのの上に、科学というものが築かれていて、私たちはずっと、その科学を信仰しているわけ。その神髄は何かといえば、物事には説明ができる理由があるってことなの。

・ 森博嗣 2019 Xの悲劇 講談社文庫,p208-209

科学と哲学

- 科学
 - 客観性
 - 論理性
 - 法則性(普遍性)
 - 再現性
 - 科学の最大の特徴は、データに基づいて議論
 - 科学は、分析によって対象(存在の一部、つまり現象)を理解しようとする
 - 外部から眺める
- 哲学
 - 疑い続ける姿勢・・・本質・存在・真理とは何か
 - 対象(存在しているあらゆるもの)について直感によって全体を知ろうとする
 - 内部から知る

何に対する専門性？



臨床心理士の業務把握

- ・ 勤務先の組織形態
(教育、医療・保健、福祉、司法・矯正、労働・産業、私設相談室)
- ・ 組織における位置づけ(職名)とその経路(広報)
 - － 雇用契約でどこまで責任を持つよう要請されているか
- ・ 受理面接
- ・ 査定ならびに説明
- ・ 介入ならびに課題
- ・ 終結、中断、無断キャンセル
- ・ 組織内連携と組織外連携

活動場所と対象者

- ・ 活動場所
 - － 教育機関(幼稚園、学校・大学など)
 - － 医療機関(病院、診療所など)
 - － 福祉施設(児童養護施設、老人保健施設など)
 - － 公的機関(各種自治体、裁判所、少年院など)
 - － 民間企業
 - － 私設相談機関
- ・ 対象(利用者)
 - － 年齢層(乳幼児期、学齢期、青年期、壮年期、中年期、高齢期など)
 - － 個人、家族(夫婦)、組織、集団など
 - － 特定の対象(障害を持った人—PTSDや認知症含む一、被害者、加害者など)

実践における総合モデル (長谷川,2009)



感性 sensibility

- ・ 物事に感じる能力。
 - ・ 感受性。
 - ・ 感覚。
- 大辞林 第2版 三省堂,1995
- ・ 外界の刺激に応じて、なんらかの印象を感じ取る、その人の直感的な心の働き。

新明解国語辞典第5版 三省堂,1997

感性の滋養のために

- ・ 対人支援職を目指す人は、様々な場面で色んな人と沢山会うことを若いうちから経験してほしい(人間通になること)。小説、映画だけではなく、文献に出てくる理論だけではなく要因が実際に人と会うと関わってくる。人生が思い通りにいかないものだということを知っているかどうか、大きい。経験を通じて身につく現実的な視点が絶対に必要である。感性の乏しい対人援助職になると、たとえば論文に示されたエビデンスのみに従うなど本当に頭でっかちの対処しかできない人になる。直接体験したことから得られた情報を自分のものにして、対人援助の場面で役立たせる、という力が必要になる。

知性 intelligence

- ・ 物事を考え、理解し、判断する能力。
- ・ 感覚によって得られた素材を整理・統一して、新しい認識を形成する精神のはたらき。

大辞林 第2版 三省堂,1995

「ストリート・スマート」と 「アカデミック・スマート」

- ・ストリートスマートとは、体験や経験に基づいて、円滑な人間関係を築き上げ、実社会でたくましく生きていくことができる人のこと。
 - － 新規課題に遭遇した場合、これまで乗り越えてきた自らを信じて、果敢に課題と向き合っていると切り抜けていくことができる。
 - － 社会が変わっても、また、失敗してもくじけず、やがてチャンスをつかんでいくであろう。
- ・反対語は、ブック・スマート、アカデミック・スマート

28

科学者と実践者モデル

科学者と実践者モデル

(scientist-practitioner model)から
臨床心理学の専門家としての姿勢とその技能を考える

つまり

臨床心理学の専門家と実践活動の
望ましい姿！期待される姿！

29

臨床心理士の専門性と活動領域

【基礎能力－専門性のための9つの戦略】

- ・ 要約力(わかること)
- ・ 論理性(ひとつながりであること)
- ・ 現実検討力(みきわめられること)
- ・ 直感力(ひらめくこと)
- ・ 自己表現力(つたえること)
- ・ 倫理性(たいせつにすること)
- ・ 柔軟性(とらわれないこと)
- ・ 情報集約力(あつめてくること)
- ・ 自己調整力(ととのえること)

基礎能力を身に付けておくことが、専門能力を吸収する土台

【4つの専門能力・活動領域】

- ・ 心理査定(しること)
- ・ 心理介入(ふみこむこと)
- ・ 地域活動(うごきまわること)
- ・ 研究・調査(しらべること・しらせること)

30

学際的な知識 心理学を基盤にして



31

臨床心理学専門家の基礎力

- ・ 要約力(わかること)
- ・ 論理性(ひとつながりであること)
- ・ 現実検討力(みきわめられること)
- ・ 直感力(ひらめくこと)
- ・ 自己表現力(つたえること)
- ・ 倫理性(たいせつにすること)
- ・ 柔軟性(とらわれないこと)
- ・ 情報集約力(あつめてくること)
- ・ 自己調整力(ととのえること)
- ・ 体力(やすまないこと)

39

心理査定の基礎力

- ・ 面接法(あうこと)
- ・ 行動観察法(みること)
- ・ 質問紙法(よみとること)
- ・ 投影法(おしはかること)
- ・ 作業検査法(してもらうこと)
- ・ 情報体制化(まとめること)

40

心理介入の基礎力

- ・ 精神学的理解(きづかないことをしること)
- ・ 人間学的理解(いま、ここにいること)
- ・ 認知的理解(しりかたがわかること)
- ・ 行動学的理解(おぼえかたがわかること)
- ・ 機構的理解(かんけい・かたがわかること)
- ・ 動作学的理解(がんばりかたをしりできること)
- ・ 物語的理解(おはなしとはなされないこと)

41

地域活動の基礎力

- ・ 位置把握(どこにどのようにいるの)
 - － 組織形態(教育、医療、福祉、産業、司法、個人経営)
- ・ 関与力(きっかけをもつこと)
- ・ 交渉・調整力(はしわたしすること)
- ・ 連携力(つなげること)
- ・ 組織化力(ととのえること)
- ・ 後方支援力(みまもること)

42

地域住民への問いかけ

- ・ 安心して生活できていますか？
 - － どのように安心してきていますか？
 - － 心配事が生じるとしたら？
- ・ どのように安心して過ごしてきたのですか？
 - － 困り事をどのように解消してきたのですか？
- ・ 話していて気づいたことがありますか？

43

研究・調査の基礎力

- ・ 観察法 自然的観察法/実験的観察法(みること)
- ・ 面接法 非構造化/半構造化/構造化(あうこと)
- ・ 調査法 質問紙法 (しらべること・とうこと)
- ・ 検査法 (はかること)
- ・ 実験法 (ためすこと)
- ・ 記録保存力(うつこと・のこすこと・しるすこと)
- ・ 分析・解析力(統計解析ソフト=R,SPSS,AMOS,etc.)(カチカチ)
平均、分散、度数、クロス表、t検定、F検定、 χ^2 二乗検定、相関、分散分析、重回帰分析、因子分析、共分散構造分析
- ・ 構成力(だんどりできること)
- ・ 調整力(はしわたしできること)

44

面接と観察が基本

- ・ 臨床心理学で、面接して、質問した上での応答を観察し、さらに質問をすることの繰り返しになる
- ・ 検査(条件統制という点では実験) では、個人差や条件による差を明確にすることが加わる

45

君は見てはいるけれども、観察はしていない

- ・ そうだろう。やはり、君は見てはいるけれども、観察はしていない。観察することとみることは、全く別のことなのだ。ぼくが言いたいのは、この点さ。いいかね、あの階段が17段あるということをぼくが知っているのは、見るだけでなく、観察しているからなのだ。
- ー ドイル・A・C. 1871 シャーロックホームズの冒険「ボヘミアの醜聞」より

46

詳しく観察すれば、事件の本質がつかめるもの

- ・ 細かい点について詳しく観察すれば、事件の本質がつかめるものだがね。詳しく見れば、平凡な日常におこることほど、不自然なものはないよ
- ー ドイル・A・C. 1891 シャーロックホームズの冒険「花婿失踪事件」より

47

他の人が見すごしてしまうようなことを見るという、訓練を積んでいるからなのです

- ・ すべてのことを知っておくのが、わたしの仕事です。他の人が見すごしてしまうようなことを見るという、訓練を積んでいるからなのです。そうでなければ、あなたも、いらした甲斐がないではありませんか
- ー ドイル・A・C. 1891 シャーロックホームズの冒険「花婿失踪事件」より

48

事実に先がけて理論を組み立てようとするのは、大きな間違いさ

- ・ もっとも、その糸口がどういう形になるのかは、全く見当もついていないことは認めなくてはいいがね。とにかく、事実に先がけて理論を組み立てようとするのは、大きな間違いさ。
- ー ドイル・A・C. 1904 シャーロックホームズの帰還「第二の汚点」より

49

関係がないですって。そうですか？

- ・ 視野を広く持つということはわたしたちの職業にとって欠くことのできないもののひとつです。いろいろな考え方を相互に組み合わせて、知識をいつもと違う使い方をすると、しばしば非常におもしろいものになります。
- ー ドイル・A・C. 1915 恐怖の谷 より

50

研究に終わりはないということだよ

- ・ そう、研究に終わりはないということだよ、ワトソン。いつも、勉強に次ぐ勉強の積みかさねで、最後にいちばん大きなものが待ち受けている。今回の場合も。実に教えられることが多い。金や名声がかかっているわけではないけれども、事件を解き明かしてみたくもなるだろうよ。
- ー ドイル・A・C. 1911 シャーロック・ホームズ 最後の挨拶「赤い輪」より

51

わたしは、彼の精神を研ぎ澄ます砥石であった

- ・ 彼が頼れる勇気のある相棒が必要なきは、わたしの役割は明らかであった。けれども、わたしの利用価値はこれだけに留まらなかった。わたしは、彼の精神を研ぎ澄ます砥石であった。わたしは、彼に刺激を与えた。彼は好んで、わたしの前で考えをめぐらせた。彼の言葉は決してわたしに向かつて語りかけていたものではないのだ。おそろしくは、そうした彼の言葉の多くは、彼の寝台に向かつて語りかけても、さすつかえなかっただろう。しかし、いったんそれが習慣となれば、わたしなら表情を表現したり、合の手を入れたりするふんだに、役には立つというものだ。たとえ、わたしの知性の論理的思考が鋭く、ホームズがいらなかったとしても、そのいらだちが、表のように燃え上がる彼の直観や感受性を、いっそう激しく、素早く、引き出させるのには役に立つのだ。これが、わたしたち同盟関係におけるわたしのささやかな役割であった。
- ー ドイル・A・C. 1923 シャーロック・ホームズの事件簿「迷う男」より

52

重大な問題の結論は、
最も些細なことから出てくるものなのさ

- 「君は相変わらずだね、ワトソン！」と、彼は言った。「君にはまだわからないかな、重大な問題の結論は、最も些細なことから出てくるものなのさ。」
— ドイル・A・C. 1923 シャーロック・ホームズの事件簿「這う男」より

53

人間ほど歴史を
後生大事にする生き物はいない

- ほとんどの人間は、自分の生きてきた時代を遡って、過去の歴史的な習慣にも縛られるものだ。それを非難するつもりはない。人間ほど歴史を後生大事にする生き物はいない
— 森博嗣 1996 すべてがFになる より

54

未来には、必ず個人の現実
そういった方向へ向かうはずだ。

- たえば、未来には、必ず個人の現実はそのような方向へ向かうはずだ。なぜなら、みんなそれを望んでいる。だから・・・、現実は限りなく夢に近づくだろう
— 森博嗣 1996 すべてがFになる より

55

観察できずに存在する例外が、
極めて少ないといって良い

- もちろん、観察できないということと、存在しないということの間には科学的に大きな隔たりがあるが、人間社会の一般的な相互関係に関していえば、通常、この差違は極めて曖昧となる。観察できずに存在する例外が、極めて少ないといつて良いからだ。
— 森博嗣 1996 冷たい密室と博士たち より

56

あらゆる課題は、現実と理想、
あるいは事実と理論の間のギャップにある

- よいか、あらゆる課題は、現実と理想、あるいは事実と理論の間のギャップにある。それを自覚することだ。しかし、現実や理想は、常に事実とはいえない。それは、あくまでも、お前たちの目が観察したもの。お前たちの頭が認識したもの。それを自問するのだ。見えないものを考えるのが人間の思考なのだ。お前たちは、自分の姿が見えなくても、自分の存在を知っている。それが人間の能力ではないか。
— 森博嗣 1996 笑わない数学者 より

57

目的を見失うことが研究の心髄なんだ

- 研究ってね。何かに興味があるからできるというものじゃないんだ。研究そのものが面白いんだ。目的を見失うことが研究の心髄なんだ。
— 森博嗣 1997 誌的私的ジャック より

58

それ以前に、人間は気づくようにできている

- 今まで、幾つもの書物で見ていたことを覆すような、新しいものを見つける。それは正確には、見つけたのではない。それ以前に、人間は気づくようにできている。ただ、それを確認するために、何かを見つけるだけだ。
— 森博嗣 1997 誌的私的ジャック より

59

しかし、不可欠なのは、飛躍です。

- 「こういうのは、まず、計算がないとね・・・」犀川はとぼけた。「最初は計算、次は実証、これを繰り返し、仮想のモデルを組み立てる。しかし、不可欠なのは、飛躍です。ちよとした飛躍。そしてついに源泉に到達する。そうならば、最後は一般への展開です」
— 森博嗣 1997 封印再度 より

60

自分の人生は一本道なのに、
それが他人の糸と絡み合って、織物みたいに歴史が作られる。

- まるで、単純な生き方をしようと望んでいるのに、どんどん人生が複雑になっていくことを象徴しているようじゃないか。自分の人生は一本道なのに、それが他人の糸と絡み合って、織物みたいに歴史が作られる。それが人間社会のメカニズムだ
— 森博嗣 1997 封印再度 より

61

人間の考えた法則なんて、
どれも極めて特殊で理想的な条件の下でしか成立しない

- 人間の考えた法則なんて、どれも極めて特殊で理想的な条件の下でしか成立しない。それらの法則は、現実の問題を解決するのではなく、問題の性質を見通すものでしかない。どちらが北なのかを教えてくれる羅針盤と同じで、目的地に真っ直ぐ連れていってくれるわけではないのだ。

－ 森博嗣 1997 幻惑の死と使途 より

62

記号を覚え、数式を組み立てることによって
僕らは大好きだった不思議を排除する

- 大人になるほど、こんな素敵は少なくなる。努力して探し回らないと見つからない。このまえ、君は、科学がただの記号だって言ったけど、そのとおりなんだ。記号を覚え、数式を組み立てることによって僕らは大好きだった不思議を排除する。何故だろう？ そうしないと、新しい不思議が見つからないからさ。探し回って、たまに少し素敵な不思議を見つけては、また、そいつらをつつ消していくんだ。もっともっと深い不思議に出会えると信じてね……。

－ 森博嗣 1997 幻惑の死と使途 より

63

同じ事象でも、人によって違うことを話すものだ

- 同じ事象でも、人によって違うことを話すものだ。だから、ひととおりは聞いた方がよい。

－ 森博嗣 1998 夏のレプリカ より

64

どうしても、覗き見ているうちに、
影響を受けてしまうんだ

- そう……、その立場に身を置くこと自体、なかなか難しいことだと思うよ。中にいるのに、外から見る事が可能なのは、高度な思考力によるものだ。それに非接触による観察は極めて難しい。何故って、どうしても、覗き見ているうちに、影響を受けてしまうんだ

－ 森博嗣 1998 夏のレプリカ より

65

観察された結果から原因を導く場合の理論というの
は、たいていの場合、あと付けなんだよ

- 「だいたいさ、観察された結果から原因を導く場合の理論というのは、たいていの場合、あと付けなんだよ」
- 「あと付け？」
- 「そう……、自分や他人を納得させるために、後から補強された論理なんだ」

－ 森博嗣 1998 今はもうない より

66

認識するためには、
予め用意された仮説が必要なのである

- つまり観察に先立って、確固とした目標がイメージできなければ、人はものを見たことにはならない、といっても過言ではない。認識するためには、予め用意された仮説が必要なのである。

－ 森博嗣 1998 今はもうない より

67

人間は分類しようとする。何故か？
その動機は、単純化、記号化、つまりデジタル化みたいなもの

- 最初は、体とか頭とか、形のあるフィジカルなものが分類の対象だったけど、そのうちに、自分たちの行動を分類し始める。そして、次は、感情にも、同じような種類のものが、同じように観察されている種類のものが、仕切られて名付けられるようになる。あれは、笑っている、楽しい。怒っている、憎らしい。泣いている、悲しい。でもね……、そもそも、そんな分類がなされる以前から、みんな笑っていたし、泣いていたんだ。これをついつい忘れちゃうんだよ。

－ 森博嗣 1997 数奇にして模型 より

68

ものごとを合理的に考える習慣が
我々研究者にはある。

- ものごとを合理的に考える習慣が我々研究者にはある。たとえ、屁理屈だとか冷血とか後ろ指をさされてもだ。だが、もちろん、理由があるからそうしている。それが、人間や社会を救うための最善の策だと信じているからだし、同時に、自分のためでもあるからだ。

－ 森博嗣 1997 数奇にして模型 より

69

通常、不可解な行為にも、必ず何かの意味がある、という前提で推理が行われる

- 「通常、不可解な行為にも、必ず何かの意味がある、という前提で推理が行われる。一略ーそれが間違いかも知れない。そもそも、意味はない。意味がないことを目的に、行われた行為なんだ、と考える。そうしてみれば、不思議なことは何一つない」
- 「意味のないことをする、ということ自体が既に不思議です」
- 「いや、それは錯覚だ。意味のないことを面白い、やる価値がある、と考えるのが人間の高尚さじゃないか」

－ 森博嗣 1998 有限と微少のパン より

70

違う。非科学的であれば、それは観測が間違っているだけだ。

- ・「違う。非科学的であれば、それは観測が間違っているだけだ。驚嘆する理由などない」

略

- ・「科学的な知識が不足していて、驚くことはある。しかし、それは非科学的とは言わない」

－ 森博嗣 1998 有限と微少のパン より

71

人間の意識は、どこにあるのですか？

- ・「その質問に対する答は、こうだよ」
略
- ・「どうして、場所を限定しなくらいじゃない？ 意識が存在する場所を限定しようとする行為が、意識を物質化している」
略
- ・「自由はどこにある？ 君の肺のどこが自由を好きなの？」
- ・「えっと、自由というのは境界条件ですから……、対象の周囲にあるとしか……、つまり、概念が象徴としてしか存在できない……」。ああ、答えられません
- ・「そう、人間とは、意識の状態で」
－ 森博嗣 1998 有限と微少のパン より

72

それが科学の動機です

- ・「現象にだけ目を向ければ、その一見不連続な事象の全容を捉えることは、特に難しい作業ではない」
- ・「それが科学の動機です」
略
- ・「意志に囚われのない現象の分析が、科学を生んだのです」
－ 森博嗣 1998 有限と微少のパン より

73

そうだ、カウンセリングを受けてみたら？

- ・「私にもわからないね。そうだ、カウンセリングを受けてみたら？」
- ・「そうですね」
- ・「いや、精神に異常があるという意味ではないよ。人に話した方が、良い結果になるのかなって、想像しただけ。今だって、私に話して、少し気が済んだんじゃない？」
－ 森博嗣 2015 彼女は一人で歩くのか？ より

74

ご自身で、
楽しみを見つけれられる以外にありません

- ・「今の貴女の状態は、とても良好です。ご自身でも分かりますね？」
- ・「え、あ、はい。そうです。今日はとても気持ちが良くて、いろいろ考えることができます。お部屋の整理もできました」
- ・「毎日がそうなるように、頑張ってください。これは、ある程度というか、大部分が、気の持ち方なのです。良いことに目を向け、自分の好きなことをする。夢中になることを見つめるのがよいと思います。残念ながら、医者が力を貸すことはできませんし、薬も効きません。ご自身で楽しみを見つけれられる以外にありません」
－ 森博嗣 2018 イデアの影 The shadow of Ideas より

75

研究だって、それぞれに目的は
微妙にずれていることが多い。

- ・研究だって、それぞれに目的は微妙にずれていることが多い。それでも、だいたい同じ方向ならば協力をし合う。その柔軟性が、組織というものへの要だし、人間が群れを作るための基本的な能力だとも思える
－ 森博嗣 2015 彼女は一人で歩くのか？ より

76

なんとなくノルマがあるのが不思議だ

- ・研究は、別のテーマのものも始めている。毎日しなければならぬことがある。誰かから下りてくる仕事ではないが、なんとなくノルマがあるのが不思議だ。自分を自分でコントロールしているためだろう。どういうわけか、こうしないと自分は仕事をしない、とわかっているのだ。
－ 森博嗣 2015 彼女は一人で歩くのか？ より

77

まるでぼんやりと未開の土地を
歩いているような気分

- ・次の研究テーマを決めるための勉強をしていた。新しい論文を広い分野で漁った。その中から自分の進めている研究で活かせないか、なにかヒントはないか、面白そうなものはないか、と考える。そういつた目標はつきりしない探索だから、まるでぼんやりと未開の土地を歩いているような気分で、これがこの上なく楽しい。研究をしている時間の中で、この期間が最もわくわくする。
－ 森博嗣 2015 彼女は一人で歩くのか？ より

78

「この地方では、青い鳥と同じ意味で、
青い海を求めるのです」

- ・憧れている間は綺麗に見える。自分のものになると、素晴らしきは埋没し、汚れた現実が目につく、という教訓らしい。(略)
- ・「それは研究でも同じだ」ヴォッシュが言った。「他人の研究は、綺麗どころばかりが見える。なんという素晴らしい発想だ、よくこんなことを思いついたな、どうして自分の実験はうまくいかないのだろう。こんな役に立たないデータばかりなのは、どういうわけなんだ？」ヴォッシュは笑った。「だが、そんな汗に薄汚れた毎日から、美しい公式が現れるんだ。まるで、天使のようにね」
－ 森博嗣 2016 風は青海を渡るのか？ より

79

「研究という仕事は、
いろいろな面でジレンマが生じるものだ。」

仕事には、やらなければならないノルマが与えられるが、研究にはそういったものは基本的にない。(略)
やらなければならないことは自分に課することになるけれど、しかし、手順として、欲しいものを得るためには準備をしたり回り道をする必要があるわけで、面倒くさいなと感じるものがもの凄く沢山ある。(略)

ただ、よくよく考えてみると、やらなければならないことは、つまりやりたいことの少し手前にあるものことだ。これで、多少は気持ちになる。

森博嗣 2016 デボラ、眠っているのか？ より 80

「科学者である前にエンジニアなのだ」

僕は、科学者である前にエンジニアなのだ。理念を打ち立てるほど、言葉だけの理屈を信じていない。ただ、問題を地道に解決し、障害を取り除くことで、少しずつ生きやすくなれば良い、というのが基本にある。正解値が得られないならば、近似値で良い。誤差が小さくなる方向へすすめば、それは進歩なのだ。

森博嗣 2017 私たちは生きているのか？ より 81

「理由があるならば、それは必ず解決できるはず。それが科学というものだからです。」

ただ、100%上手くいく保証はない。研究なんてだいたいそんなものです。自分では信じて突き進んでいるけれど、あっさり消えてしまうことがある。降参せざるをえないものにぶつかることがあります。だから、いつとは言えません。(略)理由があるならば、それは必ず解決できるはず。それが科学というものだからです。

森博嗣 2017 私たちは生きているのか？ より 82

否定することは簡単だが、
肯定するのは時間と手間がかかる。

否定することは簡単だが、肯定するのは時間と手間がかかる。

森博嗣 2017 青白く輝く月を見たか？ より 83

論文にもならない、
確信もできない段階だからだ。

何の研究をしているのかは外部からすぐにわかる。でも、どこが問題で、何が難しく、どんな問題を解こうとしているのか、どこまで進んでいるのかは、本人しかわからない。まだ論文にもならない、確信もできない段階だからだ。

森博嗣 2017 青白く輝く月を見たか？ より 84

人はね、大事なことは言葉にしない。
呑み込んでしまうんだ。

「…人はね、大事なことは言葉にしない。呑み込んでしまうんだ。賢明で正しい思考ほど、言葉になっていない。一番学ばなければならない賢者には、マニュアルがないんだ。」
「賢者がマニュアルを残さないのは、どうしてですか？」
「人に教えること、教えられると思いが上がることが、賢者にはできないからだ。そういう自分が許せないんだ」
「それでは、人類は本当の高い知性を学べないことになります」
「まあね……」

森博嗣 2017 青白く輝く月を見たか？ より 85

みんなが自分と一緒に遊んでくれる、
そんな楽しさである

論文は三日めに投稿した。おそらく1ヵ月後には公開されるだろう。他の複数の研究者の審査にかかる時間だ。発表されたら、世界のほんの一部が驚くはずだ。そして、同じテーマで一斉に検証、実験、理論構築が進むだろう。科学者にとって、こんな幸せはない。みんなが自分と一緒に遊んでくれる、そんな楽しさである。

森博嗣 2017 青白く輝く月を見たか？ より 86

同じ場において、同じ体験をしているとき、
ちょっとした発想が生まれることがある

同じ場において、同じ体験をしているとき、ちょっとした発想が生まれることがある。そういった発想を、僕やタナカは求められているのだろう。発想というのは、ある程度ストレスがかからないと生まれないものかもしれない。

森博嗣 2018 天空の矢はどこへ？ より 87

せめて自分の生活くらいは
等速度運動であって欲しい

研究という仕事が途方もなく不規則であり、何一つ前進しない長い時間と、突然やってくるインスピレーションによる飛躍で、壊れた玩具みたいなちぐはぐな進みしかないため、せめて自分の生活くらいは等速度運動であって欲しい、という願望が生まれるのだろう。

森博嗣 2018 人間のように泣いたのか？ より 88

シンポジウムなどでの口頭発表は、
顔見せイベントにすぎない。

研究の発表と議論および審査というのは、通常は雑誌上で行われるので、このようなシンポジウムなどでの口頭発表は、顔見せイベントにすぎない。そういう場なのである。しかし、マスコミを通して1番社会に与える影響は、むしろ、こちらの方が大きいだろう。実際に世界中の研究者が一堂に会するだけで話題性があるし、マスコミもニュースとして取り上げやすいからだ。

森博嗣 2018 人間のように泣いたのか? より

89

真理というものは絶えず反復して 取り上げられねばならない

- それから、真理というものは絶えず反復して取り上げられねばならないのだ。誤謬が、私たちのまわりで、たえず語られているからだ。しかも個人個人によってではなく、大衆によって説かれているのだからね。新聞でも、百科全書でも、学校でも、大学でも、至る所で誤謬はわがもの顔をしている。自分の味方が大勢いると感じるから、いい気になっているわけさ。

1828.12.16火曜日

エッカーマン(1836)ゲーテとの対話(中) p.53

何世紀も不変の価値、不変の名声を保ってきた作品を持つ過去の偉大な人物にこそ学ぶことだ。

- 生まれが同時代、仕事が同業、といった身近な人から学ぶ必要はない。何世紀も不変の価値、不変の名声を保ってきた作品を持つ過去の偉大な人物にこそ学ぶことだ。こんなこといわずに、現にすぐれた天分に恵まれた人なら、心の中でその必要を感じるだろうし、逆に偉大な先人と交わりたいという欲求こそ、高度な素質のある証拠なのだ。

1827.4.1.日曜日

エッカーマン(1848)ゲーテとの対話(下) p.157

言い伝えや、僅か一例の書に記されていたというのでは、心細いかぎり。
信じることはできません。

これが効くと言っておいて、もしもそれが効かなかったときには、ちゃんと用意した言い訳があるものです。使い方が間違っていた。ここが足りなかった。あれがダメだった。これでも効いた方ですよ、と言うのです。なにしろ、珍しいものですから沢山はありません。...少なくとも、真の良薬というのは、そのような結果が長年の間に積み積もって、ようやく広く薬として使われるようになったものです。言い伝えや、僅か一例の書に記されていたというのでは、心細いかぎり。信じることはできません。

森博嗣 2012 ブラッド・スクーパーより

92

ひどく不安だった ※思春期の心象

- 僕は、自分が得体の知れない大きなものに飲み込まれかけているようで、ひどく不安だった

略

一方で、そんな気持ちをうまく説明できない自分が、どうしようもなくもどかしさもあつたのだ

「瀧上 耕 2016 青春ばんだバンド」より

93

勇気をもって差し出すしかない

- 人間関係がうまくいかなくて不安で、辞書をちゃんと編集できるのか不安で、だからこそ必死であがく。言葉ではなかなか伝わらない、通じあえないことに焦れて、だけど結局は、心を映した不器用な言葉を、勇気をもって差し出すしかない。相手が受け止めてくれるよう願って。

「三浦しをん 2015 舟を編む」より

94

あまり親しくない人から慰められるとね、
人の気持ちがわかった気になっているだけに
見えるんだ。

あまり親しくない人から慰められるとね、人の気持ちがわかった気になっているだけに見えるんだ。わかるわかって、眉を顰めて言うんだよね。ああいうのが嫌いだなあ。馬鹿にされているというほど嫌ではないから、プライドの問題ではない。そうじゃなくて、やっぱり、その話はもう聞きたくないよ、ということじゃないかな。というか、自分は忘れようとしている。遠ざかろうとしているのに、無理に引き戻される感じに、嫌悪感を抱くって所だね。

森博嗣 2017 青白く輝く月を見たか? より

95

研究者の正義

研究者の正義といえば、知的探究を成し遂げること、疑問を解消すること、それらは局所的な満足しかもたらさない場合がほとんどだ

森博嗣 2017 血か、死か、無か? より

96

科学者というのは、 それでも太陽を見ようとします

「科学は人間の知恵が作り出したものです。しかし、科学がすべてを明らかにできますか? その希望をお持ちなのは、もちろん、理解できますけれど、あまりにも遠い世界。遠い宇宙を眺めているような気持ちになります。気が遠くなります。私たちの生活は、今ここにあるものです。この地にあって、この地に愛するものを食べて生きるのです。太陽は、私たちになくてはならないものですけれど、直接見ることはできません。見れば目が眩み、目が焼けることになります。そうなければ、もう太陽の眩しさを感ぜられなくなるでしょう」

「そうですね。科学者というのは、それでも太陽を見ようとします」

「どうしてでしょうか?」

「さあ、どうしてなんでしょう。たぶん、目が焼けてしまっても、知りたいことがあるからではないでしょうか」

森博嗣 2018 血か、死か、無か? より

97

せめて自分の生活くらいは 等速度運動であってほしい

物事の理屈が比較的一貫している状況、すなわち理路整然としている様には、一種の憧れがあるためか、時間に同調した繰返しを自分が機会のように成し遂げていることには、素朴な満足を感じている。これもたぶん、この職業に就いた者が自然に抱く感覚かもしれない。研究という仕事が、途方もなく不規則であり、何一つ前進しない長い時間と、突然やってくるインスピレーションによる飛躍で、壊れた玩具みたいなちぐはぐな進みしかしなため、せめて自分の生活くらいは等速度運動であってほしい、という願望が生まれるのだろう。

森博嗣 2018 人間のように泣いたのか？ より

98

シンポジウムなどでの口頭発表は 顔見せイベントにすぎない

研究の発表と議論および審査というものは、通常は雑誌上で行われるもので、このようなシンポジウムなどでの口頭発表は顔見せイベントにすぎない。そういう場なのである。

しかし、マスコミを通じて一般社会に与える影響は、むしろこちらの方が大きいだろう。実際に世界中の研究者が一堂に会するだけで話題性があるし、マスコミもニュースとして取り上げやすいからだ。

森博嗣 2018 人間のように泣いたのか？ より

99

その手本が素晴らしかった。

そうです。その手本が素晴らしかった。人の子というのは、まったくもって鏡のようなもの。身近の大人を映して育つ。そういうものなのだ。

森博嗣 2011 ヴォイド・シェイパより

100

稽古によって鍛えられるのは、心の持ち方、 すなわち考え方だ。

ただ、稽古によって鍛えられるのは、心の持ち方、すなわち考え方だ。稽古を繰り返して、刀と鋒の動かし方を覚えるが、それ以上に、さきのことを考えられるようになる。予測することができれば、それだけ早く対策が打てる。こういった慣れが、つまりは強くなるという意味だろう、と自分は考えている

森博嗣 2011 ヴォイド・シェイパより

101

因果を考えたいのが人情というもの。

「・・・はい、どうして、珍しいものを不幸が幸運に結びつけるのか、というと、それは、珍しいものが記憶に残りやすいからです。だから、そのあとまたまた悪いことが起こったり、それと逆に良いことがおこったりしたときに、ああ、あの珍しいもののせいだ、あれのおかげだ、と考えるのです。べつに、それがなくても、悪いことも良いことも、いつも起こり続けているんですけど、因果を考えたいのが人情というもの。そして、そう関連づけることによって、次は悪いことから逃れよう、良いことがまた起こるようになろう、と縋るものが欲しい。すなわち、人情が生み出した言い訳のようなものなのです。」

森博嗣 2012 ブラッド・スクーバより

102

そのような自然な動きが、 人間にできるというのか。

ならば、新しい動きを試す以外に活路はない。

今までになかったもの。

考えつかない例。

考えるな。

カシシウの喉が聞こえた。

そうだ、考えるなと同度も叱られた。

考えなければ、しかし動けない。

人間は考えて手を打つ、考えて筋を決める。

違うのか。

新しい筋を考え、思いつかないのではないのか。

だが・・・

震が震から電にぼれ落ち、それが地面で弾け飛ぶように、

自然は、何も考えない。

そのような自然な動きが、人間にできるというのか。

森博嗣 2012 ブラッド・スクーバから センの言葉 より

103

あくまでも 自分がどう感じるのかが大事

・「お客さんがたくさん入っていればモチベーションがたまわることはあるけれど、そういうふうに見ている人から与えられる重圧ばかりを感じてしまうと自分の中の価値観そのものがそこにフォーカスしてしまう可能性がある。それで本当に強い自分をつくることができるのか、というと、僕は疑問を感じますね。例えば、自分がいいフィーリングをつかんでいなくてもほかの人からすごい、と言ってもらえれば(自分以外の所からプレッシャーを感じている人なら)自分もそう思ってしまうのではないかと、僕にはほかのひとがそう思っているからそれで良いとは思えないし、思わない。あくまでも自分がどう感じるのかが大事だから」

104

妥協を許さない厳しさと、 適度なアバウトさが組み込まれている

・鍛えること、食べること、野球選手としての生活すべてに独自の備えがある。細心さに適度なアバウトさを組み込むと思えば、ある別のポイントではまったく妥協を許さない厳しさがある。いろんな要素がミックスされてイチローの準備は成り立っている。ゲーム当日の一つ一つの行動にはすべて意味があった。

105

模範解答よりも 常に型破りの面白さを求めている

・「常識と言われていることを少しでも変えてやろう、というのが僕の生きがいのひとつにある」と語ったことがあった。強烈なインパクトで観客はもちろん敵味方両方の心に残るプレーを望む。模範解答よりも常に型破りの面白さを求めている

106

「やりたい人、なりたい人」

- 「僕は(純粋に野球を)やりたい人。(野球をすることで偉く)なりたい人ではない」と言った。野球は、名声を得る手段ではない。やりたいことに専心して、結果的にそれがついてくる。端的な「なりたい人、やりたい人」の例えはイチローの人生の指針をくっきりと浮かび上がらせる。
- 本物のプロにとって、地位や役職はさほど重要なものではない。あくまでも大切なのは質の高いパフォーマンスや作品であり、それらを生み出す準備である。権威や肩書きに縛られない人間関係はまさにプロフェッショナリズムの産物だった。

107

完成した人にはなりたくない

- 「いつまでもまだ上がある、こんなもんじゃないぞ、と思っていた。あいつはもうひと皮むけないと、と他人に言ってしまう人たちは、もう自分が完成した、と思っているからそんなことを口にする。僕はそんなふうにはなりたくないな、絶対に」

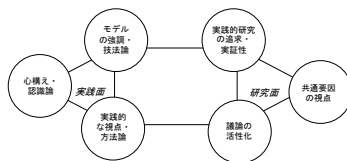
108

自分をコントロールできなくて、
相手をコントロールすることなんかできない

- 「人がどういうアドバイスをくれるのかよりも、自分のそれまでの経験から何を感じるのかが大事だと思う。自分をコントロールできなくて、相手をコントロールすることなんかできない」。「何となくやっているうちに凄く打てたりするのが天才」。

109

ブリーフサイコセラピーのための 実践研究モデル(長谷川・松岡,2010)



ライフサイクルの視点 発達心理学

- Erikson.E.H.による心理社会発達理論

111

Eriksonの発達論の特徴

- 心理・社会的視点
 - 人間は、心理的、社会的、身体的な側面を含んだ存在である
 - 家族や人間関係の側面を取り入れ、社会的・対人的な面から発達理論を展開した
- ライフサイクル(life cycle)の視点
 - ライフサイクルは、元来、生物学用語
受精による生命の誕生→成長・成熟
→老衰→死までの個体の変容過程
 - Erikson E.H.が心理学の分野に応用

アイデンティティ identity

- 自己同一性(self-identity)
- 自我同一性(ego-identity)

自己同一性(self-identity)

統合された意識的な自己イメージの総体

1. 自己の斉一性
(齊一=せいいつつ:どれもみな一様である様子)
2. 自己の時間的連続性と一貫性
3. 帰属性

エリクソンは、3つの基準によって定義せられる主体的実存的感觉あるいは自分意識の総体であると定義

自我同一性(ego-identity)

- 自己同一性の意識感覚をまとめあげ維持する自律的で主体的な自我統合および統合の機能

個体発達分化

- エリクソンは、心理・社会的側面を重視した自我の成長をライフサイクルとの関連で捉えようとした
 - 社会的に生きていくためのプラスとマイナスの力が拮抗して働き、バランスをはかる心理・社会的発達段階あるいは漸成的自我発達段階理論
- cf. フロイトは、心理・性的自我発達理論

8つの心理・社会的発達段階 エリクソンの漸成的自我発達段階理論

- | | |
|-----------|-----------|
| I. 乳児期 | V. 青年期 |
| II. 早期幼児期 | VI. 若い成人期 |
| III. 遊戯期 | VII. 成人期 |
| IV. 学童期 | VIII. 老年期 |

重要な対人関係、基本的強さ、中心病理、社会秩序の法則、儀式化の様式、儀式主義などと関連づけた

心理・社会的危機

エリクソンの漸成的自我発達段階理論

- I. 基本的信頼 対 基本的不信
- II. 自律性 対 恥・疑惑
- III. 自主性(主導性) 対 罪悪感
- IV. 勤勉性 対 劣等感

心理・社会的危機

エリクソンの漸次発達段階理論

- V. アイデンティティ 対 アイデンティティ拡散
- VI. 親密性 対 孤立
- VII. 生殖性 対 停滞
- VIII. 統合性 対 絶望

基本的信頼 対 基本的不信

乳児期

アイデンティティ形成との関連: 基盤・土台

- 世話をしてくれる母親的存在との間に基本的信頼(basic trust)を確立すること
- 基本的信頼 > 基本的不信
- 周りの人や世の中、自分自身への信頼感につながる

自律 対 恥・疑惑

早期幼児期

アイデンティティ形成との関連: 自己の気づき

- 自分の意志によって自由に取捨選択できるという自律性(autonomy)の感覚をはぐくむ
- 外部からの要求と内的な要求との間のバランス。衝動を統制する内的枠組
- うまくできない場合、恥・疑惑を引き起こす。頼りない自分を意識

自主性(主導性) 対 罪悪感 遊戯期

アイデンティティ形成との関連: 自己の方向づけ

- 「自分はどのような人間になろう」自己要求表現
- 役割同一化が積極的に行われる
- 自発的、意欲的に物事に取り組むと共に、自分が責任を持つという自主性(積極性: initiative)の感覚が育つ
- 罪悪感は、内面化された社会的価値や道徳親から生まれる良心が要請に応えられないときに生じる

勤勉 対 劣等感 学童期

アイデンティティ形成との関連: 社会の中の個

- 自分の目標に向かって一生懸命学び働くという勤勉性(生産性: industry)
- 内的な知的要求と外的な要求の均衡が取れていると学ぶことへの喜び
- 内的な要求を越えた義務感と苦痛からためな自分を思い知らされての劣等感

アイデンティティ 対 アイデンティティ拡散(混乱) 青年期

アイデンティティ形成との関連: 確立

- ①自分のルーツ、②仲間内での位置づけ、③社会の中での位置づけ
- 過去の同一化を統合し、その総和以上のものが形作られる
- 個人が生活している社会や文化に強く規定されているが、まとまりのある独自の構造を持ったものになっている

アイデンティティの拡散

- アイデンティティを達成する能力が一時的、部分的に、全面的、あるいは永続的に、喪失した状態
- 1. 親密性
- 2. 時間展望の拡散
- 3. 勤勉性の拡散
- 4. 否定的アイデンティティの選択
- 5. 過剰なアイデンティティ意識
- 6. 選択の回避と麻痺

cf.モラトリアム(猶予期間)

親密性 対 孤立 若い成人期

アイデンティティ形成との関連:具現化から安定

- 自我の強さとアイデンティティの確立が前提
- 親密性(intimacy)の達成
 - 他者の人格の尊重
 - 異性との親密な交際
 - 配偶者選択
 - 職業・仕事の選択・決定
- 困難な場合、人間関係からの孤立・疎外感

世代継承性 対 停滞 成人期

アイデンティティ形成との関連:持続・継続

- 生殖性(世代性:generativity)の感覚を発達させること
- 子どもだけでなく、後輩や若手といった次世代へ引き継ぐこと(ライフサイクルの交差)
- 失敗すれば、対人関係が貧困化し、生産的・創造的活動の停滞が生じる

完全性・全体性 対 嫌悪と絶望 老年期

アイデンティティ形成との関連:受容

- 完全性・全体性(integrity)の獲得
 - 自分が生きてきた人生(肯定ならびに否定的側面)を受容
 - 死を覚悟すること
 - 家族や地域を越えた人類への関心
- できない場合は、自己嫌悪や絶望感
 - 「死ぬに死ねない」感じ

発達過程(時間軸)での注目点

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 6か月 <ul style="list-style-type: none"> 養育者との関係 「人見知り」 1歳半 <ul style="list-style-type: none"> 発語 歩行 3歳 <ul style="list-style-type: none"> 家庭から集団へ 社交場面 | <ul style="list-style-type: none"> 10歳 <ul style="list-style-type: none"> 自分の置かれている状況を認識 10歳の壁 14歳 <ul style="list-style-type: none"> 第二次性徴 17歳 <ul style="list-style-type: none"> 学校から社会へ 社会情勢の変化への対応 |
|--|---|

129

パーソナリティの視点 性格心理学

- 性格、人格、気質
- パーソナリティの定義
- 特性論
- 類型論
- パーソナル・コンストラクト理論

130

性格と人格、気質 用語の理解

- 性格: character
 - 基礎的で固定的な面を表している
- 人格: personality
 - 個人差を強調し、環境に対する適応状態の全体的な特徴に注目している。
 - ラテン語のペルソナ(persona)がpersonalityの語源といわれている。ペルソナは演劇で用いられた仮面を意味していた。
 - 日本語での人間には環境概念が含まれているので最近ではパーソナリティとカタカナで用いられることが多くなった。
- 気質: temperament
 - 個人が示す情動反応の特徴のこと。
 - 生物学的な事柄との関連が強い。

131

心理学と性格

- 精神医学の影響を受けて個体差に注目
 - 性格心理学(パーソナリティ心理学)
- cf.実験心理学は心理現象の一般法則を研究する
- どのようにパーソナリティを測定するか
 - 観察法
 - 面接法
 - テスト法(心理検査)
- 心理アセスメント

132

パーソナリティの定義

- パーソナリティ(personality)とは、ある個人の行動は環境への適応において、その人らしい独自の一貫した適応行動様式があり、たえず遺伝と環境の相互作用により、変化、発達して再体制化されていくものである
 - 一貫性と安定性を持つこと
 - 個人の行動に表れる感情や意志の特徴であること
- cf.オルボートは「パーソナリティとは、個人のうちにあって、その個人に特徴的な行動や思考を決定する心理物理的体系の力学的体制である」と1938年に定義している。

133

類型論と特性論

代表的なパーソナリティ理論

類型論 (typology)

- ドイツ、フランスで発展
- 典型的な型に分類して整理
- 全体から個を理解
- 質的な理解

特性論 (trait theory)

- イギリス、アメリカで発展
- 構成されている基本単位 (特性: trait) に分類
- 部分から全体を理解
- 客観的・量的な測定を可能

類型論と特性論は対立するものではなく相互補完するもの

134

クレッチマーの理論(1921)

類型論の代表例

3つの性格類型

- 分裂気質
 - 非社会的、物静か、臆病、従順
- 躁うつ気質
 - 社会的、活発、柔和
- 粘着気質
 - 几帳面、厳格、融通性がない、粘り強い、執念深い

135

ユングの理論(1921)

類型論の代表例

8つの性格類型 (2×4)

2つの型

- 外向型
 - 外界の刺激に影響を受けやすい
- 内向型
 - 自己の内面にエネルギーが向かいやすい

4つの機能類型

- 思考機能
 - 分析、論理的 外部から
- 感情機能
 - 共感、他者理解 内部から
- 感覚機能
 - 五感を通じて情報を取り込む 事実性
- 直観機能
 - 物事のパターンやイメージを把握 可能性

136

特性論の特徴

- 因子分析によって発展が促進
 - 因子分析(factor analysis)とは、変数間の背後にあると想定される構成概念を探索する分析手法
- 構成概念(construct)とは、直接観察できないが理論を構築する上で、観察可能な事象から導き出されて構成された概念のこと

137

オルポートの理論(1937)

特性論の代表例

- ウェブスターの辞書から人間の態度や行動を表現している言葉を約1万8千語抽出
- 14の共通特性(common trait)
 - 3つの表出特性
 - 11の態度特性
- 人格のプロフィールを表す心誌(psychograph)
 - 共通特性+心理・生物学的要因(身体状況、知能、気質)をまとめたもの

138

キャットレルの理論(1940頃～50頃)

特性論の代表例

- オルポートらの4500の特性語を検討
 - 同義語を160語にまとめた
- 因子分析によって12の根源特性(source trait)
 - キャットレルの研究を批判的に展開させたのがギルフォードら13の特性(1940-1943)
 - 矢田部・ギルフォード(YG)性格検査(1968)へ

139

アイゼンクの理論(1960,1967)

特性論の代表例

因子分析により2つの基本因子を抽出
内向-外向の因子、神経症傾向の因子

- 内向性
 - 硬さ、主観性、遅鈍度、持続性、感じやすさ
- 外向性
 - 活動性、社交性、冒険性、衝動性、表出性、反省の欠如、責任感の欠如
- 神経症傾向
 - 自尊心の低さ、不幸感、不安感、強迫性、自律性の欠如、心気性、罪悪感
- その後、精神病質の変数を追加

140

特性5因子モデル(1960以降)

(Five Factor Model)

特性論の代表例

5つの特性因子で、性格特徴を説明できる

- 例えば
 1. 外向性
 2. 調和性
 3. 良心性(誠実性)
 4. 神経症傾向
 5. 経験への開放性

研究者によって命名が多少変動
しかし、ほぼ共通した因子

141

パーソナル・コンストラクト理論

(personal constructs theory)

その他のパーソナリティ理論

- 性格は、観察者が人の行動も含めた世界を認知し、それに意味づけて解釈し、概念化することにより構築したもの(Kelly, 1955)
 - 人間は「個人的な科学者」として振る舞い、自らの経験に基づいた概念を絶えず構築している存在
- 性格は、固定されたものではない
- 人と人の中で構成される
 - 社会構成主義(social constructionism)

142

性格検査とパーソナリティ理論

性格検査は特性論と類型論の特長を組み合わせで構成してある。特長の度合いを不等号で示した

- MMPIとMAS: 特性>類型
- YG性格検査: 特性>類型
- エゴグラム: 特性>類型
- 内田クレベリン精神検査: 特性<類型

この分類に収まらない性格検査が存在する。例えば投影法の多くは、独自の理論に基づいて検査が構成されている

143

臨床心理面接の方略(長谷川,2016) トップダウンとボトムアップ

トップダウン方略

- 全体の構造を押さえて体系的に進めていく
 - 専門家中心主義・権威主義
 - 問題の本質
 - 治ること
 - 合理主義

ボトムアップ方略

- 小さなことを蓄積して全体を構築していく
 - どのように今の世界を捉えているのか
 - 専門家の持っている知識と照合
 - 快適に生活するための方策を協議して考えること
 - 構成主義

145

心理アセスメントとは(長谷川,2016)

- 面接法や行動観察法、心理検査法や生育歴、家族情報といった背景情報などの各種情報を包括・統合して心理的な支援を行う上で方針・計画を立てる過程のこと
- 心理アセスメントは1回だけ行えば良いのではなく、随時実施することが求められる
- 心理検査をする事だけが心理アセスメントではない

心理アセスメントの要素(長谷川,2016)

- | | |
|---------------|----------------|
| • 見定め | • 見極め |
| - 当たりをつける(場所) | - 明らかにする(構造) |
| • 見入る | • 見渡す |
| - よく見る(注目) | - 広くみる(環境探索) |
| • 見分ける | • 見出す |
| - 区別する(判断) | - 可能性を探す(資源探索) |
| • 見積もる | • 見通す・見越す |
| - 目安をつける(予想) | - 先を考えてみる(時間軸) |

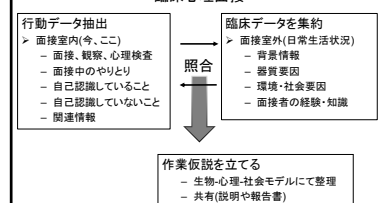
147

心理アセスメントの枠組み(長谷川,2016)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 年齢 | 6. 感情 |
| 2. 器質や病態水準: 精神障害・発達障害 | 7. 発達課題: 世代毎に特有なもの・未来像 |
| 3. 認知と注意 | 8. 対処能力: 対外・対内 |
| 4. 意欲 | 9. 環境: 資源(人間、社会、物質、自然) |
| 5. 言語 | 10. 急性か慢性か |

148

心理アセスメントの作業過程(長谷川,2016)



149

心理面接の枠組み

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 内容(技法) | 6. 目標 |
| 2. 対象(個人/集団) | - 症状軽減 |
| 3. 時期(タイミング) | - 人格変容 |
| 4. 頻度 | - 行動修正 |
| 5. 場所 | - 認知修正 |
| | - 当面の乗り越え |
| | - 心理教育 |

150

心理面接は課題

- 面接者がかかわった事柄(課題)が相手にどのように伝わっているのか(反応)を把握しながら面接を展開していく(対応)
- 行動分析で説明すれば
 - 刺激=課題
 - 反応
 - 反応に対して面接者が対応することが介入となる
- クライアントの中で生じた事象について
 - 活動=体験(努力)

151

アセスメントと心理面接の統合の枠組

- | | |
|---------|------|
| • 知情意 | • 心理 |
| - 知=思考 | • 身体 |
| - 情=感情 | • 社会 |
| - 意=認知 | • 実存 |
| • 行動・行為 | |

152

個々が十分と全体が最高とは別

- 個々の楽器がそれぞれ十分に鳴っているのが全体にとってベストとは限らない

鈴木秀美

- 朝日新聞 折々のことば 2017.8.22
- 通奏低音とは「響きの土台」を作るもの。
- 旋律を支える低音に和音をつけてゆく。そして上声部が自由に歌えるように緩急をつけ、間合いをとる。「一つ」になって聞こえる」と、そのために何を優先するかの特長が重要で、自分の楽器がちゃんと鳴っているかはこの次、三の次だとチェリストは言う。人の集団でもしんがりがりや最前、縁の下役が大事。

『通奏低音弾きの言葉では、』から

星田清一
153

参考

診療報酬

診療報酬

- 医療保険診療の際に医療行為等の対価として計算される報酬のこと
 - 医師(あるいは歯科医師)を中心とした医療従事者(看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士など)の医療行為に対する対価である技術料や調剤技術料、薬剤費、医療材料費、医療行為に伴って行われた検査費用など
- 自己負担は一般的に3割負担となっている。残りは公的医療保険から賄われる。

D283 発達及び知能検査

2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 操作が簡単なもの 80点
2. 操作が複雑なもの 280点
3. 操作と処理が極めて複雑なもの 450点

注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの1種類のみの所定点数により算定する。

具体的な検査例

1. 津守式乳幼児精神発達検査、遠城寺式乳幼児分析的発達検査、コース立方体組み合わせテストなど
2. 新堀K式発達検査、田中ビネー式知能検査V、WISC-R、WAIS-R
3. WISC-III、WISC-IV、WAIS-IIIなど

D284 人格検査

2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 操作が簡単なもの 80点
2. 操作が複雑なもの 280点
3. 操作と処理が極めて複雑なもの 450点

注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの1種類のみの所定点数により算定する。

具体的な検査例

1. 矢田部ギルフォード性格検査、TEG-II 東大式エゴグラム及び新版TEGなど
2. バウムテスト、SCT、P-Fステディ、MMPI、TPI、描画テストなど
3. ロールシャッハテスト、TAT絵面統覚検査など

D285 認知機能検査その他の心理検査

2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 操作が簡単なもの 80点
2. 操作が複雑なもの 280点
3. 操作と処理が極めて複雑なもの 450点

注 同一日に複数の検査を行った場合であっても、主たるもの1種類のみの所定点数により算定する。

具体的な検査例

1. CAS不安測定検査、SDSうつ性自己評価尺度、CES-Dうつ病(うつ状態)自己評価尺度、STAI状態・特性不安検査、POMS、CMI、GHQなど
2. ベントン視覚記憶検査、内田クレペリン、ベンダー・ガシュタルドント
3. ITPA、標準失語症検査、K-ABC、WMS-R、ADASなど

I002 通院・在宅精神療法

2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 通院精神療法

医師が行った場合に限る。

一般的な自己負担金
額で換算すると1200円
程度

ー イ 略

ー ロ 略

ー ハ イ及びロ以外の場合

・ (1)30分以上の場合 400点

・ (2)30分未満の場合 330点

2. 在宅精神療法

ー イ、ロ、ハ 略

・ 注1 略

・ 注2 通院・在宅精神療法は、診療に要した時間が5分を超えたときに限り算定する。以下略

I003 標準型精神分析療法 (1回につき)

2018年4月改定 診療報酬点数表

390点

- ・ 注 診療に要した時間が45分を超えたときに限り算定する。

I003-2 認知療法・認知行動療法

(1日につき)

2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 医師による場合 480点

2. 医師及び看護師が共同で行う場合 350点

注1 (一部略)入院中の患者以外の患者について、認知療法認知行動療法に習熟した医師が、一連の治療に関する計画を作成し、患者に説明を行った上で、認知療法・認知行動療法を行った場合に、一連の治療について16回に限り算定する。

注2 精神科を標榜する保健医療機関以外の保健医療機関においても算定できるものとする。

注3 診療に要した時間が30分を超えたときに限り算定する。

注4 認知療法・認知行動療法と同一日に行う他の精神科専門療法は、所定点数に含まれるものとする。

1004 心身医学療法 (1回につき) 2018年4月改定 診療報酬点数表

1. 入院中の患者 150点
2. 入院中の患者以外
イ 初診時 110点
ロ 再診時 80点

注1の1から3は略

- 4 入院中の患者以外の患者については、初診日から起算して4週間以内の期間に行われる場合にあっては週2回、初診日から起算して4週間を超える期間に行われる場合にあっては週1回に限り算定する。
- 5 20歳未満の患者に対して心身医学療法を行った場合は、所定点数に所定点数の100分の200に相当する点数を加算する。

1005 入院集団精神療法 (1回につき) 2018年4月改定 診療報酬点数表

100点

- ・注1 入院中の患者について、入院の日から起算して6月を限度として週2回に限り算定する
 - ・2 入院集団精神療法と同一日に行う他の精神科専門療養は、所定点数に含まれるものとする。
- (1) 入院集団精神療法とは、入院中の患者であって、精神疾患のものに對して、一定の治療計画に基づき、治療によるやりとり、他の治療を用いた相互援助の手段により、集団内の対人関係の相互作用を利用して、対人関係での不安や葛藤の除去、患者自身の精神症状・問題行動に関する自己洞察の深化、対人関係改善の習得等をもちこたえにより、病状の改善を図る治療法をいう。
- (2) 入院集団精神療法は、精神科を標榜している保険医療機関において、精神科を担当する医師及び一人以上の精神保健福祉士又は公認心理師等により構成される2人以上の者が行った場合に限り算定する。
- (3) 以下略 (平30保高実305-1)

1006 通院集団精神療法 (1回につき) 2018年4月改定 診療報酬点数表

270点

- ・注1 入院中の患者以外の患者について、6月を限度として週2回に限り算定する。
 - ・2 通院集団精神療法と同一日に行う他の精神科専門療養は、所定点数に含まれるものとする。
- (1) 通院集団精神療法とは、入院中の患者以外の患者であって、精神疾患のものに對して、一定の治療計画に基づき、治療によるやりとり、集団内の対人関係の相互作用を利用して、自己洞察の深化、社会適応技能の習得、対人関係の改善等をもちこたえにより、病状の改善を図る治療法をいう。
- (2) 通院集団精神療法は、精神科を標榜している保険医療機関において、精神科を担当する医師及び一人以上の精神保健福祉士又は公認心理師等により構成される2人以上の者が行った場合に限り算定する。
- (3) 以下略 (平30保高実305-1)

参考 臨床心理学を基盤におく「臨床心理士」の場合
連携

連携においてイメージ構築が 求められる理由は・・

心理面接、心理アセスメント、その他の
情報から

ケースフォーミュレーション：経過、対応を予

他職種に見通しを伝えながら連携を
とり、新しい現実(イメージ)を構築
する

心理専門職のおかれている立場

心理学を基礎とする「公認心理師」という専門職
が国家資格となった。
医療現場に新たな国家資格の専門職が加わる。
実証(研究)と実践が専門家に求められている現状

臨床心理士等によるこれまで活動を礎に
して存在価値をアピールしていきたい
心理検査を含む心理アセスメントによる見通し・
予測
心理療法の効率化と効果を示すこと
多職種連携の「つなぎ役」として
しかりアピールのしずきは逆効果

心理専門職の存在評価
顔を知らせてもらえているか？

組織内の存在評価
組織外の存在評価

実践経験・専門知識は 心理専門職にとって 最大の財産

- ・連携を求める他職種は、専門性に裏付けられた見解を知りたいと思う
- ・心理学の専門家として「どう考えるか」という視点を持つこと

どのように実践経験・ 専門知識を身につけるか 思考プロセス・問題解決アプローチ手法

- ・問題意識を強く持ったりアンテナを張り続けること
- ・疑問・不思議に思ったことを放置しない
- ・疑問解決の方法を確保する
- ・他職種からの問い合わせはチャンスである
- ・できるだけ電話でなく、会って説明する
- ・付加活動もチャンスである
- ・どのように付加価値をつけられるか

どのように実践経験・専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法

私だけのネタ箱....

どのように実践経験・専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法

世界で通用する
心理専門職を目指す

どのように実践経験・専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法

論文を書く・一緒に書く

- 1) 事例報告を書く
- 2) 事例報告と一緒に書く
- 3) 原著論文を書く

事例研究

- 1) 原著論文に比べ、投稿しやすい
- 2) 小規模な学会では投稿しやすい
- 3) 他の職場で働く臨床心理士が多様な事例に目を向けるチャンスである
- 4) 他の職場で働く臨床心理士に感謝されるかもしれない

どのように実践経験・専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法

論文を読む

- 1) 英語の原著・総説を読む
- 2) 目的を持って読む
- 3) 自分でできることはないか考える

修得の仕方(学び方)の段階
心理面接・心理アセスメント

学び方は、学習環境に左右される
来談者から学ぶ姿勢に加えて

- ・ 文献から学ぶ
- ・ 学習仲間と共に学ぶ
- ・ 研修会に参加して学ぶ
- ・ 熟練者から定期的に指導を受けて学ぶ
- ・ 初学者に教えて学ぶ

185

適用の際の配慮事項 心理面接・心理アセスメント

学び方は、学習環境に左右される
来談者から学ぶ姿勢に加えて

- ・ 適用する手法(心理面接・心理アセスメント)の理論的背景を理解しているか
- ・ 手引き等に沿った手順で手法を実施できるか
 - － 学習仲間と共に学ぶ
 - － 研修会に参加して学ぶ
 - － 熟練者から学ぶ機会があるかどうか
- ・ 適用対象者に理解可能な言葉を用いて手法の説明ができるか

186

養成の仕方 訓練法

- ・ 実践してみせられることが第一
 - － 家族療法、ブリーフセラピー、催眠法、臨床動作法は、公開した上での実践が可能
 - － 認知行動療法も同様にツールが公開され何が行われているのかを知ることが出来る。
 - ・ 理論と実践の整合性が保たれることが望ましい
- 理論－対応(操作)－結果(効果)

187

どうして
ブリーフサイコセラピーなのか
医療現場を例にしてブリーフサイコセラピーが求められる理由を考える

- ・ 医療現場には
 - － 医師、看護師、保健師、助産師、薬剤師、臨床検査技師...
 - － 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士.....
 - － 歯科医師、歯科衛生士.....
- ・ 公認心理師が新たに加わる
 - － 臨床心理技術者という名称で、その多くが臨床心理士の活躍の場ではあったが、国家資格ではなかった

専門用語を使用するのが 専門家ではない。

プロになるな！偉大なる素人になれ！

- その道のプロは知識・経験が豊富だからこそ、正確に多くの知識を伝えようとしてしまう。
- 経験を積んで数年経った頃は、とにかく専門用語を多用し、しゃべり過ぎるきらいがある。
- 駆け出しの頃は、目の前のクライアントの事を理解し、その理解を丁寧に返していたはず。
- こういうことをベテランになった今も自然とできていて専門職は「専門職の中の専門職」であることは言うまでもありません。まさに偉大なる素人となる。

189

事例報告・事例検討 ・スーパービジョン・事例研究

190

事例検討ならびに スーパービジョンの意義

- 心理専門職は、可能な限り中立な立場で面接に臨むことが求められる
- 実施した面接の中でのなにかがしかの思い入れや肩入れなどは避けられない
- 事例検討やスーパービジョンを通じ、「距離」を置いて面接を眺める機会を持つことで下記のことを可能にできると良い
 - － 関与ならびに見方の適切性
 - － 技法の習得や再獲得
 - － 実施者の特徴や癖を把握した上での実践

191

違いがわかりますか？

－事例報告・事例検討・スーパービジョン・事例研究－

- 事例提示・事例報告
 - － 対応した事例を素材として可能な限り適切に示すこと
- 事例検討
 - － 現在進行形あるいは終結・中断した事例を取り上げて、より適切な対応の仕方を議論したり事例そのものの理解を深める。参加者全体での学びに繋がる
- スーパービジョン
 - － 現在進行形あるいは終結・中断した事例を取り上げて、より適切な対応の仕方を議論したり、事例そのものの理解を深めて技能向上を図る。研修に比重が置かれている
- 事例研究
 - － 学問的な位置づけを踏まえた上で、事例を取り上げる

192

事例提示・事例報告の目的

- 終結した事例について全体を振り返って検討する
- 面接の展開が行き詰まっているので、打開策の手がかりを得たい
- 事例理解について、心理的な課題や精神病理について新しい枠組を提示したい
- 介入技法を考案した(修正した)ので提示して検討したい
- その他 いろいろな思いがいろいろ

193

事例提示の中で説明して欲しいこと 論理性・再現性

- なぜそう見立てたのか？
- なぜその技法を使おうと思ったのか？
- なぜ他の技法ではなくその技法なのか？
- なぜその場面でそう対応したのか？

194

事例記録のまとめ方(素材の下ごしらえ) －事例検討・事例研究・スーパーバイスの下準備－

- 事例全体を通読・把握する(面接メモや音声記録)
- 生育歴などは冒頭に概略をまとめておく
 - － 詳細は、面接で得たときに記載する
- 面接経過で生じた出来事
 - － 応答
 - ・ 来談者の発言、振る舞い
 - ・ 面接者の発言、振る舞い
 - － 面接者が感じたこと
 - － 面接者が考えたこと
 - － 介入
 - － 変化・差違
- 事例全体を振り返って考えたこと

195

報告形式による展開の特徴

・資料(レジュメ)の有無

- －ある場合は、詳細な検討が可能になる
 - ・取り上げたい事例・検討事項を提示できる
 - ・不利な点は、事前に負担がかり、資料に拘束される
- －ない場合は、臨場感ある検討が可能になる
 - ・面接場面では記録に頼ることが出来ない
 - ・利点は、参加者が一緒に検討でき、発表者の準備に負担がかからない。不利な点は、見落としが生まれる可能性がある。覆れないうちは質問が出ない

事例検討

- 事例報告・事例提示に基づいて対応の適切さを主に検討する
- 事例提示の形式を工夫すること
- 資料準備の配慮事項
 - － 参加者が初心者や経験者がどれだけのいるか
 - － 参加者の好むアプローチ(理解優先、行動優先)
 - － 事例提示の持ち時間
 - － 事例提示枠(司会者、指定討論の有無など)

197

事例報告を聴いているとき・・・ －疑問と連想を豊かにする－

- ・自分ならばどうするか？
- ・報告者はどのようにしていたか？
- ・自分が来談者だったらどうか？
- ・どんな口癖？ どのようなイメージ
- ・登場してくる人物、それぞれの「思い」はどんなものか？
- ・どこかで似たような話-昔話、小説、噂etc.を聞いたことがなかったか？

事例検討会で体験した異和感

- ・みなさんは事例検討会に参加した経験があると思います
 - －事例提供者
 - －指定討論者
 - －参加者
 - －司会など
- ・参加したなかで異和感のあった体験はありませんか？
- ・小グループで話し合ってください

199

自己弁護や事例提供者を萎縮させる時に使う用語集

- ・攻撃的
- ・操作的
- ・侵襲的
- ・無意識的
- ・etc.
- ・対人支援専門職として
 - －事例提供者の場合は、「責任放棄」「自己弁護」する言葉ではありませんか??
 - －参加者の場合は、事例提供者を「攻撃する」「萎縮させる」言葉ではありませんか???
 - －時に、納得できる・合点がいく言葉になりますか???

200

役割が違うだけで対等である

- ・事例の元では、経験は問われない
- ・存在するのは
 - －どのように考えて(見立て)
 - －どのように対応したのか(関わり・関与)
 - －それがどんな結果をもたらしたのか(帰結・効果)
 - －上記の繰り返し
- ・事例検討・スーパービジョンの中で
 - －事例提供者と参加者(スーパーバイザーやコメントーター含む)は、対等であり平等な関係が前提である
 - ・「役割」が違うだけ

201

スーパービジョン

- ・初心の頃は、特定の学派の理論よりもむしろ来談者と会うときの態度や作法を学ぶ
- ・自分が来談者となった場合に相談したい人を選ぶ
- ・理論ではなく、具体的にどのように関わるかを学ぶ
- ・面接毎あるいは定期的(月に一度等)でスーパービジョンを受けるのが一般的な頻度
- ・開始時期は、初回面接前であったり、面接開始後であったり決まりがあるわけではない

202

事例研究

- ・実践者は、主観性が強くなりがちになる。そこで客観性を獲得するために事例研究を勧めたい
- ・来談者と面接者でのやりとりを第三者の視点でまとめることが訓練になる
- ・論文の構成
 - －研究の立ち位置を明確化－先行研究を熟読必要
 - －事例経過は、必要最小限の情報
 - －考察は、何を見出したかを明示する

203

事例検討

204

主旨・目的 －事例検討－

参加者の相互支援

- ・面接の技倆をいっそう高めること
- ・より良い面接のサービス提供につながる
- ・事例提供者が必要としていることを参加者が相互に提供し合うこと
 - －事例提供者は冒頭で要望を表明して欲しい
- ・報告のどこがポイントであると思ったのかを参加者が自由な雰囲気言い合えること

205

具体的な共有事項 －事例検討－

- ・具体策：提示された事柄をより良くするにはどうしたらよいか
 - －用語や文章に対する指摘(誤記など)は後回し
 - －知識の豊富さや能力の高さを自慢・披露する場所ではない
 - 「▲▲というのが□□に載っていたよ」
 - ×「▲▲を知らないの」
 - －独りよがりな臨床の巧さを自慢・披露する場所ではない
 - 「△△というやり方もあるよ」
 - ×「△△すべきところだよ」

206

役割 -事例検討-

- ・ 司会
 - タイムキーパー
- ・ 事例報告者
- ・ 参加者
- ・ 全体統括者(スーパーバイザー)

207

運営の方針 -事例検討-

- ・ スーパーバイザーとスーパーヴァイジーは平等です。基本的には相談面接と同じです
- ・ 参加者間で知識の誇示を争うことを避けてください
- ・ できるだけ日常的な言葉を使ってください
- ・ 報告者に対して肯定的なメッセージを与えてください
- ・ 指示は避けてください
 - 指示する場合は、「～をやってみるとどうなると思う?」、「試みるとどうなると思う?」と間接的に提示してください
- ・ 修正すべき点と有効な面を指摘してください
- ・ スーパーヴァイジーの能力を引き出して伸ばしたいです
- ・ スーパーバイザーも何かを得て学ぶ機会としたいです
- ・ 音声記録は事例提出者以外は控えてください。なお主催者側は記録のために事例提出者の許可を得て録音いたします。録音して欲しくない場合は申し出てください。

司会の仕方 検討・研究の議論を深める工夫

- ・ 冒頭のあいさつ
 - タイトル
 - 司会者名・所属
 - 司会を務める...
 - 発表者名・所属
 - 発表者は...
 - 指定討論者は...
- ・ 面接経過の第〇回で1度区切ります
- ・ それではよろしくお願います。
- ・ 事前に経過で区切るところを発表者に確認しておく
- ・ フロアーのみなさん、イメージできたでしょうか?
- ・ 事実確認をする時間とします。
- ・ 随時司会者はまとめながら進んでいく。
- ・ ある程度意見が出たところで指定討論者
- ・ 随時発表者に答えてもらう
- ・ 最後は、発表者に感想を言ってもらって会をまとめる²⁰⁹

事例検討の進め方

詳細な資料を準備する場合

210

事例資料の作成について 詳細な資料を準備する場合

- ・ 主観をできる限り外したデータとして提示する
 - 聴衆との議論は深まるが、臨床の実力に疑問を持たれてしまう
- ・ 臨床現場で感じたこと、思ったことを混ぜながら提示する
 - 専門家としての視点を尊重してもらえが、新しい視点を得られにくい。

211

事例資料の作成について 詳細な資料を準備する場合

- ・ 年齢(何歳代)、性別、必要に応じて地域性
- ・ 初回時の印象など
 - 表情、服装、身なりなど
- ・ 主訴(来談理由)
- ・ 今までの経過
 - 生育歴、困難さが生じてから、受診歴、既往歴
- ・ 面接構造
 - 援助者との関わり
- ・ 困難さ・症状
- ・ アセスメントと仮説
- ・ 目標設定
- ・ 対応の方針
- ・ 事例の経過
- ・ 事例提示の理由・目的
- ・ 記載していなくても所々、発表者の見解や印象を挟みながら経過を伝えていく

212

事例検討の進め方 1/2 参加者で情報を集めて検討する方法

1. 発表者がA4程度にまとめた事例資料を報告する(15分程度)
2. 発表者が一通り報告した後、参加者が疑問に思ったことを順番(あるいは疑問が生じた人から)に質問を出していく(15分ほど)
 - 疑問に生まれたことはどんな些細なことでも質問してかまわない。
3. 発表者は、質問に対してその都度わかる範囲で答える
 - わからない場合は、わからないと答えてかまわない。あるいは推測であると断って答えてもよい。²¹³

事例検討の進め方 2/2 参加者で情報を集めて検討する方法

4. 参加者からの質問と発表者による答えが一通り出たら休憩時間を持つ(5-10分ほど)
 - 休憩後にすべての参加者からコメントをいう
5. 参加者は、順番にコメントをいう(全員)
 - 発表者の関わりで参考になったところ
 - 自分ならこのように関わるかもしれない
 - 感想、現象をこのように読み取るなど。
6. 参加者から一通りコメントを行った後、発表者は、リコメントをする
 - コメントを聞いて連想したこと
 - 参考になった意見、展開の予想
 - 感想など

214

事例検討の進め方

詳細な資料を用意しない場合

215

事例検討の進め方

120分の実演を交えた方法－資料なし－

1. 複数名の小グループで話し合う(20-30分ほど)
 - － 最近の関わりの中で気になった事柄を出し合う
 - － 他薦・自薦で話題提供する担当者も挙げる
 - － ジャンケンでの勝者に絞って勝ち抜き戦
2. 相談のデモンストレーションをする(40分ほど)
 - － 他の参加者はコ・セラピストの役割をとる
 - ・ 慣れない方は評論講師がデモンストレーションでの相談者役、慣れたら、参加者に相談者役をもらう
3. デモンストレーションでのブレイク(20分・休憩含む)
 - － 小グループ内でセラピスト役への助言を検討する
 - － 話題提供者もグループに戻って検討する
 - － 全体で、グループ内での見解を報告し、共有する
4. デモンストレーションの続きと感想 (15分+15分ほど)

**抄録原稿および投稿論文などの
倫理的配慮に関するガイドライン**

フリーサイコセラピー学会

1. 発表者はユーザーのプライバシーを保護する責任を有する。
ユーザーとは、前提として業務上の守秘義務がある人
2. 学会発表についてその目的をユーザーに説明し、できるだけ了解を得ることが望ましい。ただし、やむを得ず了解が得られない場合は、個人情報が同定されないようプライバシーの保護には充分に留意する。
3. ユーザーを特定する情報は、人名、地名、職業、職場名、学校名、家族の職業、居住地名などである。事例理解のため必須情報として表記する場合には、固有名詞は使用せず一般名称にとどめる。ユーザーの情報を改変するのではなく、転載または第三者に開示するに注意する。
4. 固有名詞を記号化する場合には、実際のイニシャルは使用せず、A・B・C・Dなどとする。
5. 治療期間等については、開始時を「X年〇月」などとし、その後の経過は「X+〇年△月」あるいは「〇年後・△か月後」などと表示する。

附則
本ガイドラインは、平成18年8月27日より施行する

**どのように実践経験・
専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法**

- 「現場」の素朴な疑問から
何かを見つける
- 1) 質問紙調査
 - 2) 尺度構成
 - 3) 効果測定
- 仮説を立てる**

**どのように実践経験・
専門知識を身につけるか
思考プロセス・問題解決アプローチ手法
疑問を解決する**

- 1) 誰かに相談する
- 2) 文献を調べる
- 3) 自分で実験・調査してみる

**専門性をめぐるいくつかの視点
～かけがえのない臨床心理士をめざして～**

- ・ ベーシックな臨床活動マネジメント
- ・ 得意分野を持つこと
- ・ 必要なスキルと能力
- ・ 自信を持つための臨床心理士エンパワメント
- ・ 対話と会話
- ・ 自分自身のナレッジマネジメントとキャリアアップ

220

基礎力の土台

- ・ 記録の取り方
- ・ 文章作成
 - － 事例報告
 - － 資料
 - － 報告書
 - － 発表抄録
 - － 投稿論文
- ・ 学会参加・ワークショップ参加
 - － 会場での立ち振る舞い
 - － 研修の受け方

221

**専門家として
必要なスキル A**

- ・ 情報・活動マネジメントスキル
 - 『臨床活動やりくり力』
- ・ 心理統計・介入(プログラム)評価スキル
 - 『見通し力』『だんだり力』
- ・ プレゼンテーションスキル
 - 『魅せる力』
- ・ コミュニケーションスキル
 - 『おはなし力』

222

**専門家として
必要なスキル B**

- ・ ウェイティングスキル
 - 『見守る力、待つ力』
- ・ エンパワメントスキル
 - 『活き生き力』
- ・ ネットワーキングスキル
 - 『まきこみ力』、『まきこまれ力』
- ・ キャリアアップスキル
 - 『育ち力』

223

**専門家として
必要なスキル B**

- ・ ウェイティングスキル
 - 『見守る力、待つ力』
- ・ エンパワメントスキル
 - 『活き生き力』
- ・ ネットワーキングスキル
 - 『まきこみ力』、『まきこまれ力』
- ・ キャリアアップスキル
 - 『育ち力』

224

戦略の失敗は 戦術では取り返せない

- ・ 戦略
 - － 目標達成のためのシナリオと資源の最適配分
 - － 面接目標を達成する方略
 - － 枠組
 - － 意思決定の領域
- ・ 戦術
 - － 戦略の実行手段
 - － 面接場面でのやりとり・応答
 - － 意志伝達の領域
 - － 行動の領域

225

軍事戦略と臨床心理学 軍事戦略理論

軍事戦略理論では戦略を5つの階層に分けている
世界標準として米軍でも自衛隊でも同じ考え方をする

1. Grand Strategy: 国家戦略 (大戦略)
2. Military Strategy: 軍事戦略
3. Operational Strategy: 作戦 (方面軍戦略)
4. Tactics: 戦術
5. Battle: 戦闘

226

軍事戦略と臨床心理学 戦略は意思決定の領域で戦術の上位概念

1. 臨床哲学・科学哲学
 - － Grand Strategy: 国家戦略 (大戦略)
 2. 実践活動の管理運営 (全体のマネジメント)
 - － Military Strategy: 軍事戦略
 3. 地域援助と研究調査
 - － Operational Strategy: 作戦 (方面軍戦略)
 4. 査定と介入
 - － Tactics: 戦術
 5. 面接
 - － Battle: 戦闘
- 戦略の失敗は戦術では取り返せないことは軍事の常識

227

技能証明と技能向上 航空管制官の訓練を例に

- ・ 技能証明 (rating) 取得のための訓練
 - － 実技訓練
 - ・ 現場での教官が付いての訓練
 - ・ simulatorによる訓練
- ・ 技能向上のための訓練
 - － 技能向上訓練
 - ・ 実際に実務に就いている者の訓練
 - ・ refreshと自分の苦手を克服
 - ・ 更には非常事態に対応できる訓練

228

あなたのキャリアアップ life long learning

- ・ 「まず推いてみる自分の」キャリアビジョン、計画化
- ・ **自分のナレッジマネジメント**
 - あなたの情報、知識、知恵の再開発とブラッシュアップ
- ・ 日々の業務の中での **マネジメントスキルアップ**
- ・ **臨床記録**をまとめよう！
- ・ とりあえず発信、**プレゼンテーション**をしよう！
 - 知識・情報の吸収・統合→報告・講義・演習・講習
 - ・ 身近なところから、例えば**事例検討会**で報告しよう
- ・ なにか**調査研究**をしてみよう！
 - 臨床活動→仮説生成→実験・調査にて検証
- ・ **学会発表、論文**に挑戦しよう

229

心理師の専門性

- ・ 教育や訓練を経て専門職として人と接する
- ・ 人生経験や情熱、熱意がある人との違いは何か
- ・ 何を専門とするのかを整理する必要がある

230

相談者としての活動領域の拡大

- ・ いのちの電話
- ・ 精神保健福祉相談
- ・ 消費者生活センター
- ・ 法テラス(弁護士、司法書士)
- ・ 心身健康
 - － 精神障害
 - － がん等
- ・ 経済・司法
 - － 借金
 - － 多重債務
- ・ 人間関係
 - － 家庭
 - － 職場
 - － 地域

231

科学とは

- ・ 現象を理解・説明・予測・制御する方法
- ・ 科学とは、一つのものの考え方である
- ・ **科学原則**
 - 単純性
 - 整合性(一貫性)・論理性
 - 反証可能性
 - 実証性
 - 再現性

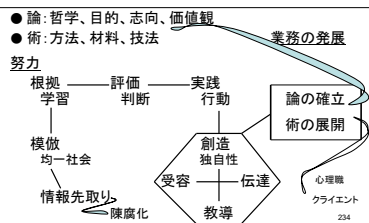
232

信頼社会から評価社会への変換

- ・ 信頼は美徳、社会システムの支柱でもある
 - － 長幼の序、人脈、パターナリズム、規制行政、理より情
 - － ただし、正直、忍耐、儉約、けじめ等に支えられている
- ・ 評価社会に大きく変換
 - － 信頼が契約と評価に、今はまだ試行錯誤状態
 - － 実証に基づいた実践活動/情報に基づく合意、情報公開、規制緩和/自己責任/第三者評価
- ・ 評価能力「正しい自己決定能力」のある臨床心理士が
評価に耐える「独自性と説得力を持つ」臨床心理士となる

233

業務運営のあり方と果たすべき役割



評価は科学的に

- 評価は根拠に基づいて結論を出す「科学」である
- 評価に用いる根拠は、自らの成果(実験データ、業務上の確証含む)生涯学習によって習得した知識、技術、判断基準、研究・調査の文献情報等
- 評価結果(行動)には、判断根拠と経過についての説明責任(アカウンタビリティ)がともなう
- 個々の利害を離れ、目的に照らして、評価対象のニーズに合う評価が必要
- 形式的、無責任、感情的評価は百害あって一利なし

235

専門化の必然性

- 専門性の拡大と高度化
- 複数の専門家で協働することの浸透
ユーザー(クライアント)を中心に置いた連携における責任
 - 近接科学(医学、看護学、脳科学、福祉、社会等)の最新の知識を学びつつ、「心理学」の専門職として機能すること
- 心理学専門家としての立場からの発想でなく、1人の個人としての常識人・社会人の立場からの発想への変換

236

新たな科学体系への参画

- 科学的知見は、知識・技術の集積を、クライアント支援等の目的に合うように調整し活用するもの
- 臨床実践や学術論文・知見に関連する全ての課題、ならびに社会的論争にも積極的に発言し行動を
- 科学だけでは答えの出ない、しかし科学なしでは答えを出してはいけない問題に、社会は対応を迫られている

237

心理学研究に関連して生じる社会的論争

- 心理学研究に含まれる倫理的・道義的・宗教的要素
- 自殺、事故に巻き込まれるなどの当事者、残された親近者
- 人権の対立
 - 被害者、加害者
 - 専門家、非専門家

238

専門家としての心構え

- クライアント・社会と連携し、社会的論争に参加臨床活動も研究活動も教育活動も社会的論争と無縁ではありえない
- 科学的評価能力をみがく
当面する課題に対して、正確に予測し、的確に対処するために、あらゆる科学的アプローチを学際的に総合して最適化する
- 既存固定観念を脱して新たな“場”を作る努力
- 努力をしている限り未来は美しい(と信じたい)

239

電話相談員養成プログラム(案)

- 基盤としての対人支援基本技能
 - － 相談員は、意志を持って目的に沿った意図的で適切な対応技能を選択できること
- 専門性の深化・確立
 - － 保健師、看護師、ケアマネージャー、栄養士、ソーシャルワーカーなど
 - － 精神科、心療内科、内科、小児科、産婦人科など
- 特定の現場・対象・状況における技能・知識
 - － 発達障害、虐待、犯罪被害
 - － 育児不安、乳幼児、高齢者

240

医療・分類モデルと心理・発達モデル

- 医療・分類モデル
 - － 症例と呼ばれ、疾病により分類される
 - － 疾患単位に必要な処置や対応が決まっている
 - － 医療機関に関係なく手続きが統一化
 - － 標準操作手続きが定められている
 - ・ Standard Operation Procedure (SOP)
- 心理・発達モデル
 - － 事例性が求められる
 - ・ 事例によって個別に仕立てる必要がある

241

連携の心構え

- 人はマネジメントできても人をコントロールできない
- コントロールできるのは自分自身だけ

242

緊急支援の心構え ー見立てのためにー

- ・ 格差の存在が前提
 - ー 現場から求められること
 - ー 専門家としてやりたいこと・やるべきこと
- ・ 何のために現場に入っていくのか
 - ー 現場の人に役割をわかってもらうことが先決
 - ・ 初期は、現場の人と一緒に考えるという姿勢が求められる
 - ー 現場の人に専門家としてはいる意義を理解してもらう
 - ー 現場の人が臨床心理士を必要としていないことがある
 - ・ 何もしないでたいていだけでよい場合がある
- ・ 枠組・構造の明確化
 - ー 報酬の支払はどこから

243

学習内容をモジュール化する

- ・ モジュール(module)とは
 - ー 構成単位
 - ー ハードウェア機能単位で、他の構成要素との組み合わせ使用が可能なもの。
 - ー 交換可能な構成部分
 - ー モジュール方式時間割(modular scheduling)における学習時間の単位
 - ・ 理論+演習+実践(講義+調査実験+発表)などを統合
 - ー 直列にして段階的に学習
 - ー 並列にして同時に並行して学習

244

学際的な知識



245

面接技能+領域の知識 生涯発達と諸領域にわたる活躍のために

- ・ 面接技能の習得
 - ー 対人支援基礎技能修得
(観察技法、傾聴技法、活動技法など)
- ・ 知識
 - ー 心理・学習・行動の仕組み+発達(乳幼児、児童、青年、壮年、中年という世代毎の特徴)
 - ー 生理・生物:精神障害、発達障害の特徴や仕組み
 - ー 社会:資源の情報ー医療、教育、産業、福祉、司法など
 - ー その他:関連法規、文化(哲学、宗教、歴史、芸術)、研究方法

246

職業倫理は社会契約

- ・ 臨床心理士の活動は
 - ー 人に対する利益になるから・・・
 - ・ その人の秘密を知ることが許される
 - ・ その人が気づかない葛藤を探ることが許される
- ・ 人に対する「恥じらい」や「戒め」を持つこと
- ・ 社会的な契約を専門家がしているからこの職業が許されている

247

職業倫理のタイプ

- ・ 命令倫理
 - ー 「～すべき」
 - ・ 秘密を漏らしてはならない
- ・ 理想追求倫理
 - ー 「～が望ましい」
 - ー 「～でありたい」
 - ・ 自己決定権を守る(ことが望ましい)

248

倫理規定とは

- ・ 目を通して知っているのではなく
- ・ 具体的に考えることが重要である
 - ー 解答がひとつではない
 - ー 相互啓発
 - ・ 事例検討やSVIにて、やり方・考え方を聞いてもらい判断をおおぐ
- ・ 倫理綱領に抵触した後の対処が重要である
 - ー 意見の食い違いを同僚や仲間と話し合うこと
 - ・ 人に説明できること
 - ー 常にクライアントの立場で考えること
 - ー ジレンマを自覚して考え続けることが大切
 - ー 臨床現場には、自覚することの困難さが存在する

249

「軽い不正」を働く人は、 いずれ「深刻な不正」も平気で働く

- ・ 「一事が万事」とは良く言ったもの
 - ー 不正が1つ出ると、芽づる式にたくさん出てくるもの
- ・ 臨床心理学の仕事に携わる一人ひとりが、一点の曇りも市場から抱かれられないように、襟を正さなければならない

倫理規定の階層

- ・ 人としての倫理
 - ー 人命は秘密保持よりも優先順位が高い
- ・ 心理専門職としての倫理
 - ー 直接で得た情報の保護(秘密保持)
- ・ 学派の中の倫理
 - ー 課題の分類という考え方がアドラー心理学にある
 - ・ クライアントの課題とセラピストの課題に分けて考える。
 - ー 何をすべきで、何をしないべきか
 - ー どこまですべきで、どこまでしないべきか
- ・ 法律の中にある倫理
 - ー 真の当事者は誰か
 - ー 最善の利益は何か
 - ー 他行貪可能性という視点は、もしも他の人であったり、他のやり方ならはどうかという考え方のことをさす。日本の法律の基本にある。

251

離見の見

- 何かに打ち込んでいても自分を客観的にみる目を持つことが大切だということ
- 能の創始者である世阿弥が花鏡(かきょう)にて説いた言葉
 - － 舞に、目前心後といふことあり。「目を前に見て、心を後ろに置け」となり。目前左右までをば見れども、後ろ姿をばいまだ知らぬか。見所(観客)より見る所の風姿は、我が難見なり。……離見の意(りけんのい)にて見る所は、すなはち見所同心の見なり。その時は、我が姿を見得するなり。

花鏡より

252

卒意(そつい)と座持ち

- 卒意とは、用意に対する言葉である。お茶会でもてなしをする際、予め季節や当日の天候を考慮して、どんな趣のお茶会にするのかを亭主が用意周到に準備する。しかし季節外れの天候不順によって雨が降ったり、雷がとどろいたときでも、せっかく用意した計画が台無しになったとは考えず、その変化までも工夫して取り込みプラスの要素に帰るような臨機応変な対応力のこと
- 座持ちとは、芸妓がお座敷にいるお客様の状態からすかさずその日の芸を組み立てる能力のこと

253

専門職と職能集団と学会

- 公認心理師・臨床心理士など
 - － プロフェッショナルとしてこの仕事にどのように向き合うのか
- 臨床心理士会・公認心理師協会など
 - － 養成機関での養成後における教育
 - － 総論・各論
 - － 地域毎のつながり
- 学会
 - － 学術情報の普及
 - － 研修、倫理、広報、渉外、編集、事務

254

日本において臨床心理学の専門職が 社会責任を伴う過程

- 1988年(昭和63年)臨床心理士資格が出来る
 - － 日本臨床心理士資格認定協会
 - － 「臨床心理士」資格認定開始
- 1997年(平成9年)指定校制度開始
 - － 全国で161大学院が認定協会から指定(平成22年10月1日現在)
 - － 資格認定協会指定の大学院修士課程修了
 - － 富澤基和女学院大学大学院は1種指定校
- 2005年(平成17年)専門職大学院が設置
- 2014年(平成26年)6月16日衆議院法務局に公認心理師法案が提出
 - － 秋の臨時国会での法案通過が期待される

255

基礎研修のガイドライン 学習と育成のために

- 臨床心理士会の紹介
 - － 歴史
 - － 組織・形態
 - ・ 委員会
 - ・ 事務局の働き
 - － 活動内容
 - ・ 学習会・研修会の情報
- 基本姿勢
 - － 社会人としての心構え
 - － 専門職としての心構え
 - － 倫理
- 心理査定と心理介入
 - ・ 地域・組織援助
- 関連団体や一般からの話し
 - － 社会の要請や期待を知る
 - － 職業の位置づけの確認
- 研究
 - ・ その他

256

うつ病の認知療法・認知行動療法 治療者用マニュアル

- 厚生労働省

257

医療領域における基礎知識

- 組織
 - － 診療科目
 - － 構成員(医師、看護師、薬剤師、OT、PT、ST・)
- 医学知識
 - － 感染症予防
- 連携の持ち方
 - － 専門性の発揮と尊重

258

教育領域における基礎知識

- 組織
 - － 校務分掌、年間行事
 - － 構成員(校長、教頭、教員、養護教員など)
- 学校風土
 - － 保護者や児童・生徒の地域性や特徴
- 連携の持ち方
 - － 専門性の発揮と尊重

259

産業領域における基礎知識

- 労働安全衛生法に基づいた活動
 - － 企業の義務となった
- 予防的な活動
- 以前は、企業内診療所での相談など福利厚生サービスを各企業が独自に実施していた
 - － 臨床医学
 - － 産業保健

260

実践家を能力、出来ることによって、ランク付けするとしたら

調整・整理者(arranger)

- ・先人のやってきた仕事(理論)をベースにしながら実践を行う
- ・原則は受け身の方法に徹する
- ・積極的な働きかけを回避する
- ・最小限できることは受容と共感に徹するのみ

長谷川(2011)

270

実践家を能力、出来ることによって、ランク付けするとしたら

創造者(creator)

- ・先人のやってきた進め方(理論)は勿論、基本に忠実である
- ・眼の前のクライアントに合わせた方法を新しく開発しようとする
- ・専門家としての自覚に基づいてクライアントが先々抱える、またクライアントが諦めている課題・問題を予測し、クライアントにとって必要だと判断した場合は積極的に対応する人

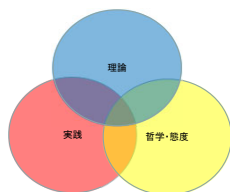
長谷川(2011)

本当に正しい手法を知っていれば自然に評判は広がる

- ・「ええ、べつに、無理に信じていただく必要はないのです。信じてもらっても、私にはなんの得にもなりませんからね。テレビに出て、占いだの、予言だの、予知だの、そういったことを宣伝する輩(やから)は、まちがいに似非(えせ)です。本当に正しい手法を知っている者ならば、どうして宣伝する必要があるでしょうか？黙っていても、自然に評判は広がりますし、偶然にも体験できた人は、きっと人生を修正せざるをえなくなるでしょう。テレビを消してしまえば、はいそれで終わり、というような見せものではないのです。そうではありませんか？」

・ 森博嗣 2008 11になるまで待って Please Stay Until 講談社文庫,p109 272

臨床実践の3要素



273

任せれば、人は楽しみ、動き出す

ホテル経営者：星野佳路(よしはる)



- ・「やる気を引き出す組織作り」の秘訣
- ・信じる力が人を動かす。
- ・社員は人に喜んで欲しいという人が集まっている。そこを信じる。残った社員は財産である。まず社長は社員の声を聴く。
- ・社員内で考えさせる。フラット型(10人一組のユニットでディレクターは立候補制)で役員会は誰でも参加可能
- ・ホテル再建のコンセプトを決めていくが正解がない。
- ・考えを出していくことに慣れていない場合に社長が集めたデータを出していた。
- ・しかし決めるのは社長でなく社員である。「主人公は君たちだ」
- ・現場で実際に接客をする社員たちが、「共感」できるコンセプトを作り上げられたら、残りは具体的にどんなことをするかを、現場の社員達が考え、実行に移していく。

274

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

腕は修羅場の数で決まる

小児心臓外科医：佐野俊二



- ・年間300件を超える手術を行っている。
- ・他の病院でも請われれば手術を行う。
- ・案をすれば腕が落ちる。だから手術室に立ち続ける。
- ・深夜、容態が急変し、緊急搬送される子どもも少なくない。
- ・そんな時、手術が必要であれば、自宅から駆けつけ手術室に臨む。

275

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

答えは、現場にある

パティシエ：杉野英実



- ・発想が行き詰ったとき、日常の作業に没頭する。
- ・いったん、問題・課題から離れる。
- ・あたり前にしている作業をあたり前に繰り返す。
- ・そのなかで、今、何が一番大切かを見つめなおす。
- ・日々の仕事にはヒントがあふれている。
- ・いつものフルーツをいつもの作業で触りながら、これを違うお菓子に使えるか、考える。いつものお菓子を作りながら、ほかの素材を加えられないか、考える。厨房という現場にこそ、答えはある。

276

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

本質をつかめ

アートディレクター：佐藤可士和(かしわ)



- ・「それまでは、邪念がいっぱいあった。賞が欲しいとか、カッコいいものをつくってデザイナーとして評価されたいとか、商品にとって正しい広告とは何かということが見えていなかった。」
- ・入社5年目、車の広告のビッグプロジェクトに入った。
- ・仕事への取り組み方が変わった。
- ・はじめて自我を捨てて、商品と依頼企業にとって何が大事なことかを真剣に考えた。
- ・最初の出だしが通ってしまうと、まったくのすれ違いな表現しか生まれない。それまで、自分の中から表現をひねりだそうとして、すぐにボスターやCMづくりに取り組んでいた。
- ・得たことは、広告の表現以前に、その対象の本質を見抜く、それを更にシンプルにつかむことだけが大事なんだ。

277

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

相手を買めると解決が遠のく

弁護士：宇都宮健児



- ・仕事の依頼のほとんどが、多重債務の相談だ
- ・借金したことを責めない
- ・相手を買めることで解決が遠のく
- ・どんな問題に取り組み時も被害者の視点を忘れない。相談者に裏切られるのは覚悟しなきゃいけない。他に手をさしのべる人がいなくなる。何度でも報酬支払いの念書を書き直してもらいます
- ・法律がすべてじゃない
 - 一 法律では、国の取り分が最優先になるが、押収された金はもともと被害者の金。国が上罰をはねるのはおかしい。手続害は国と国賠訴訟することを決断した。時には法律を超え、人情に訴えて突破口をはかる。とかく経済優先、弱者に頼むこの国の仕組みを変えるには、法律だけに頼っているのは駄目なのだ。

278

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

失敗を楽しめば何かが見つかる

科学者：古澤明



- 科学は最高のスポーツ。勝つための戦略は同じ
 - 勉強＝前立伏せ、腹筋などの基礎訓練
 - 研究員＝選手、大学教員＝監督
- 選手には、計画や作戦を与えた後、出勤、帰宅など自主性に任せている。結果を出せる環境作り。選手を信じて。みんなホームランを打てる能力を持っている。勘違いがされてないから成果につながっていない。空振りでも良いスイングだったと伝える。
- うまくいかない場合の結果は監督にある。
- 頭脳より根性
 - 頭の回転の速さよりもこつこつと長時間課題に取り組み根性
- 「楽しんでください」失敗を楽しめ
 - 失敗は新しい課題や遠征を教えてくれる。
 - わざと間違ったデータを出してそれを書き込んで分析する指導者と食った
 - 実験器具を壊すおもしろさとやら。実験開始の合図はLet's Play
 - 失敗をさまざまな方向からしゃべりつくせば、新しい発見が必ずある。

279

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

危機的な状況になっても動じない

WHO メディカルオフィサー・道藤奈邦子



- 仕事内容は、いま全世界を不安に陥れている鳥インフルエンザの感染爆発(パンデミック)を食い止めること。
- 2006年1月5日、トルコで、過去最大の鳥インフルエンザが集団発生した。ウイルスが、人から人に感染する新型に変異した可能性があった。危機的な状況になっても動じずに対処することを心掛けている。状況を見極め、感染の拡大を抑えるために、チームでトルコの現地に駆けつけた。
- 現地の病院の医師たちは、患者の情報をすぐに教えなかった。言葉の違い、文化の違いから起きる現実である。
- 犠牲者を一人でも減らすために、あきらめずに情熱を持って訴え続けた。せつは詰まった状況ではあったが相手を安心させる雰囲気作りで気を遣った。やがて、現地の医師たちの心を突き動かした。

280

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

自信を現場に持ち込む臆病になれ

左官・狹土秀平 (はさどしゅうへい)



- 現場でも日常生活でも臆病である。
- 何度も材料を作り直し、試す。
- 自分自身に問いかけるように「大丈夫か」とばやく。
- 背景には、自信過剰になれば必ず落とし穴に落ちる、という強い思いがある。常に不安を抱えることで、感覚が研ぎ澄まされ、良い仕事が出来ると。
- 職人の仕事=要求(に)応えるではなくを超える
- 追い込まれたら逃げてみる。
 - 工期が迫った。職人も早く完成させたいと焦りを募らせていた。その時、狹土は姿を消し現場を離れ、一服していた。「焦って仕事をすれば、必ず失敗する」とどんなに追い込まれても、間をとり、冷静さを失わない。

281

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

役割はきっかけを与えるだけ

英語講師・竹岡広信



- きっかけさえつければ、自らの力で伸びていく
 - 生徒が力をつけたとき、「俺が教えてやったから」と思うのは教師のご飯である。
 - 生徒自身が努力した結果だと考えるべきだ。
- 生徒が知りたいと思うときに教える。
 - 生徒の質問に対して良い教材があれば、1分離れた自宅に帰って対応しい教材をとってくる。教師は生徒がきっかけをつかむまで、手を変え品を変えしながら、辛抱強く待たなければいけない。
 - テクニックではなく、面白いと思ってもらうことを大切にしている。

282

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

最初の考えを捨てないで強化

プロデューサー・鈴木俊夫



- 仕事は、それぞれのスタッフをやる気にし、持てる力を発揮させること。仕事を祭りに変える。それぞれの立場がある。全員参加してもらうようにする。
- 1人の人間が考えることはたかがしれている
- 自分は信じない。1+1=2ではない。1+1=10になることもある。仕事を忘れたときにいい仕事ができる
- 最初の思いつきを紙に書いてしまっておく。その上で他の人に聞いていく。考えを「捨てる」のではない。「試し」、「強化」していく。そして元の紙に戻る。「自分がやりたいのはこれなんだなあ」と確認していく

283

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

家に物語を込める

建築家・中村好文



- 依頼者との最初の打ち合わせで、希望する間取りや部屋の広さなど、家についての具体的な要望は、ほとんど尋ねない
- その理由は、依頼者が本当に欲しい家をわかっていないのだからと考えている。生活のサイクルや食事の好き嫌いといった雑談の中に混じっている潜在的な要望を聞き出せばいい
- 家が建つ場所の光の差し方、風の向き、周りの風景から物語を持った場所を探していく。依頼者には家に物語を込めて渡してあげたい
- 要望を全部聞いて全部出すのがいい家というわけではない。住宅としていいものを作りたい。設計の語めに入るとき、依頼者のことを一旦頭から切り離して忘れる。ひたすら家のことだけを考える。重圧を感じながらのんびりでないダメ。幸せな家というのは設計者が楽しみたいときでない。

284

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

作るんじゃない醸し出すんだ

商品企画部長・佐藤章



- ビール作りは「not making, but feeling」。
- 作るんじゃないで、感じるんだ。醸し出すんだ。
- これは、ドイツのビール・マイスターが言った「ことば」だ。いい環境ときっかけを与えれば自ずと生まれてくる。
- 体全体で思いやイメージを伝える。「グジュグジュ」などの擬音語・擬態語をよく使う。形容詞にしようと思わない。アイデアを出すわけではなくメンバーに刺激を与える。しつくり来ないときは、「次、次、次」と他の人からのアイデアを促す。
- ヒットはチームで生み出す。一人の力だけでは生み出せない。魅力的な仲間がいてアイデアが広がって深まる。あいつ良い奴だなあ、というようないい人がいい商品を生み出す。いい人とは人のことを敬愛とか、思いやれるとか、リガが良いとかという魅力的な人のことを指す。
- 確信犯の一人がすべてを決めていく。民主主義はダメだ。合議制はもっとダメだ。

285

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

背伸びさせて、育てる

ベンチャー・経営者・秋山咲恵



- 会社を成長させるためには、人を育てなければならぬ
- 仕事に失敗した社員に、必ずチャンスを与える
 - 人は一歩一歩前に進むのではない。三歩進んで二歩下がる。たまの一步を、大きく踏み出せばいい
- 人は仕事を通じて育つ・成長する
 - ある人が一度むけるのに100%以上のことにチャレンジして逃げないでそれを乗り越える経験を持つてもらわなければならない。
 - 壁に立ち向かえば、たとえはね返されても強くなる
- 失敗が人を育てる
 - 経営者は後押しする。失敗しても大丈夫と不安から解放するのみ

286

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

瞬間的に判断し動く癖をつける

テストドライバー・加藤博義



- 頭で考えるな。自分の体の感覚を感じる。ハンドルは3本の指で支える。スピードメーターは見ない。風景の動きでスピードを読み取る。データを聞くと考えてしまう。思いこみが出てしまうことを避けるために事前に聞かない。
- 極限の時こそ、余裕を持て。
 - 常に自分に余裕をかけておき、その余裕を取ると、余裕が生まれる。一修羅場であつこと、要領すると本来の実力が出ない。
- 部下の育成の流儀
 - 教えないプレッシャーを与える。車の運転は土壇場の繰り返しです。その時どうしよう、どうしようと考えていたら間に合わない。そこで盲目的に自分で判断し、動く癖をつける。教えることは簡単だが教えらる癖がついてしまう。教えない代わりに責任ある仕事をやらせる。任せるだけではない。責任を負わせ、結果を求めると部下は伸びる。

287

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

照らすのは、その向こうにある ライティングデザイナー・内原智史(さとし)



- ・ 建物を照らさない。本質は周囲にある。
- 周辺がどんな町なのかを見極めなければならない。この場を使う人にとって何が一番大切なのかを知ることが大切である。
- ・ 光は何よりも雄弁である。
- 光は、ただ「明るい」「暗い」だけでなく、暖かい光、冷たい光、切ない光、豪おしい光、気高い光、静かなしい光……。同じ空間なのに、光ひとつで全く違うものに思えることができるのは、光の持つこうした多彩な表情のおかげである。
- 昼間の太陽と違い夜の光は、人間の生活の営みの現れである。一つ一つの明かりの背後には、それを灯した人の思いがある。夜の光には、それを灯した人の意思が存在する
- ・ 冷静な判断をしつつも熱くなれることが大事
- 照明演出では、ろうそくの灯火、提灯の明かりなど

288

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

治療するのはおこがましい 樹木医・塚本こなみ



- ・ 人も樹も生命として同じ
- ・ 私が樹を治療してやると思うと全然できない。私でごめんなさい。今からやらしてもらえども教えてくださいという気持ちでやると割といろんなものが見えてくる
- ・ 人間が大自然の中の樹木を治療するのはおこがましいと思う
- ・ 自分の力は、微々たるもので、樹の力で素晴らしい花を咲かしてくれる

289

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

サッカーを通じて大切なことを伝える 教師・高校サッカー部監督・大瀧雅良



- ・ 自分の目で見て頭で考えさせる。自分で見つけた答えだけが自分のものになる。教えてもらったものは身に付かない。答えを教えることは、極力しない。どうやって自分で考えて自分のものになるのか。
- ・ 服装や挨拶など礼儀やルールといった人として当たり前のことをゆるがせにしない。サッカーを通じて生徒を一人前の大人にする
- ・ サッカーではパス回し、シュート練習といった基本練習をひたすら繰り返す。
- ・ 教師でありたい。子どもたちが大人になって僕らのトンシにあるいは僕らがいなくなっちゃったとき、僕らはふと思いついたときに、僕の人生の中で、あいつがやっていたことをふと思いついたぞ、といわれたときに教師の仕事であったんじゃないかと思う

290

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

答えは僕らの頭の中にはない ゲーム開発部長・植村比呂志



- ・ 答えは、僕らの頭の中にはない。現場からきつかけをもらって、ソフトウェアを作って、その結果をまた現場で教えてもらっている。その繰り返し。
- ・ 頭でわかるのではなく、現場に行きつて体で刻め。現場に出てみると、動機づけと危機感が上がる
- ・ 人を育てるのに大切なこと
- その人の出した結果ではなく、試行錯誤している過程を見て、育てる。きつかけを与えながら、待つことである。ヒントは出すが、自分で気づくまで待つ。その人を決してせかしたり、追い込んだりしない。答えは自分で見つける。成功体験の中から、次のやる気が生まれる。

291

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

衝突が本物を生む カーデザイナー・デザインディレクター・奥山清行



- ・ イタリアにある車の名門スタジオでデザイナーを管理するデザインディレクターをしている
- ・ 一流のデザイナーが集まって仕事をしている。ひとつのプロジェクトでは、コンペのように複数のデザイナーに競わせる。「猛獣使い」の役割をしている。
- ・ 創造的な仕事の最大の敵は、「独りよがり」と「自己満足」である。衝突から本物が生まれる
- ・ アイデアスケッチを出したデザイナーを挑発して、プライドを刺激する。真正面から批判し、崖っぷちに追い込むと闘争心に火がつく。自らもデザインの腕が落ちないように常に描き続けている。
- ・ 猛獣使いには「腕力」が必要である

292

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

経験で直感が磨かれる 棋士・羽生善治



- ・ 10代で10人に一人の逸材といわれた。
- 10代は怖いもの知らずであった。余計なことを考えない。
- ・ 25歳で前人未踏の7冠を達成した。その後「この先どうなるのか」という不安に駆られるようになった。
- ・ 30代になり大局観と矜持(れいこう)という、透き通る、曇りのないさまという考え方がキーワードとなった。
- 「直感とは、今まで自分が積み重ねたものの中から、速い、速く浮かび上がってくるもの。」経験の積み重ねから直感が磨かれる
- ・ 経験を積んで、選択肢が増えて速いやそれが出るようになった。年数を重ねてくると手堅く行こうとか無難に行こうとなった。そこから何か生まれるのかと思ったら何も生まれない
- ・ あえて今は手を緩めない。勝負の流れを読み、今攻めた方が良いとか、一手退してみようとか、一手だけ攻めて後は受けにまわろうとかと全体的な判断で打つ手を探している。出方を待つ「他力」

293

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

伝統を守り、伝統を壊す 料理人・徳岡邦夫



- ・ 変えるものと変えないものの基準は
- 「人との信頼関係を大切にできたこと」がお店が70年以上続いてきた核なので変えてはいけない
- ・ 料理のテクニクや料理内容、サービスは目の前にいる人に合わせる必要が欠失になる
- ・ 創業以来変えないものがある。醤油と昆布、塩、醤油だけで味付けされた伝統のだし
- ・ 店の創業者である祖父と同じことはできない。
- バブル景気がはじけ、お店の経営が悪化していく一方であった
- ・ 料理長になり、創業者の祖父の作った伝統料理を学びなおした
- ・ 伝統料理にこだわったが、店の経営が回復しない
- ・ お客の声を聞く、洋服も楽しみなが食べられる料理との声
- ・ この声を聞いて決意。今の環境を自分でできることをするしかない

294

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

「恋心」がないと駄目 ロボット技術者・小柳英次



- ・ 恋して泣ける技術者たれ
- 相手の立場を理解しないと一方通行になる
- ・ 使い手と開発者が自分勝手にロボットを開発するものではない。相手の立場に立ちなさい
- 「ロボットは研究のためにではなく、使い手のために開発されるべきだ」
- ・ 始めるのは「努力」でできる。継続は『楽』なんです。で、辞めるのが、一番『勇気』がいるんですよ！
- 28年間続けた工業高校の教師を辞める際に考えたこと。

295

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

仕事をする決め手は相手の人柄 ベンチャー経営者・飯塚哲哉



- ・ LSIの開発・設計と企画に特化し、工場を持たないで事業を拡大してきた。「いつ、誰と手を組むかが経営者としての腕の見せ所。競争で生き抜くのに必要な能力は、変化をみる力と見方の軸がぶれないこと。
- ・ どん欲に人に会う。提携が成立するのはごく一部である
- 交渉が成立しなくても、今後の提携を探って交渉を続ける道は残す
- ・ 決め手は責任者のこだわりや勘、感覚
- 熱意を持って、相当の時間をかけて考え、その上、その人の個性を持って考えた意見に接するとおつとと思う
- ・ 「甘い言葉を吐くやつは信用できない。実行力が低くなるまで待てない」
- ・ 「金にこだわらないやつは本気でビジネスを考えていない」
- ・ 「信じられるのは、自分にも相手にも厳しい人間」

296

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

技術以外に必要なものは素直な心

花火師・野村陽一



- 花火は上空で開いて燃え尽きるまで5秒程度
 - 花火作りには1年間地道な作業を繰り返す
 - 花火の色を出す「星」と呼ばれる火薬作り
 - 一日0.5g足りずついでに火薬を塗りつけ
 - 3か月かけて重厚なセンチほどに育てる
 - 星は「作る」のではなく育てるもの
 - 星を詰める仕組みには一日かけることもある
 - うまくいかなければ最初から仕込みをやり直す
- 花火の輪の中に、さらに五重の同心円を描くという複雑な一発である「五重芯(ごえしん)」に挑む
 - これまで失敗を繰り返してきたので今回は内部で弟子と話し合うことにした。結果的には弟子の作品を出品し、優勝を果たした
 - 必要なのは、技術を超えた集中力。そして花火と向き合う素直な心、まっすぐで純粋な気持ち

207

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

熱していない実は、摘み取らない

中学教師・田尻信郎



- 中学生を相手に英語を教える
 - 「英語」という未知の世界に触れる生徒たちと向き合うとき、「楽しませる」ことを大切にす。
 - 「英語を勉強することは悪い良薬みたいなもの。そこに楽しさという糖衣をまぶすことが先生の重要な役割だ」
- 英語の知識を教えるだけではない
 - 子どもから大人へと成長していくこの時期の生徒たちと日々、接するなかで、授業を通して「大人になるための練習」を課している
 - 自分一人が負けばいいわけではない。相手の気持ちをくみ取りながら接することができるようにことを求める
 - 頭ごなしに生徒に「指導」することはしない。大切なのは、本人が気づくかどうかだと考えている。気づくまでは、ただ待ち続け、生徒を信じ続ける
 - 友だちとトラブルを起したときや本人が失礼したときこそが、機が熟したとき。そのとき初めて、正面から向き合って働きかける

208

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

覚悟をもって言い切る

脳神経外科医・上山博康



- 脳動脈瘤(りゅう)は破裂する危険性を伴う
- ひとたび破裂すれば半数が死にいたる
- 破裂を未然に防ぐために手術することもできるが後遺症の危険性がある
- 不安を抱えた患者に対して、「大丈夫だ」と言い切る。手術の危険性を説明したうえで、後遺症なく治すことを約束する。手術の結果に責任をもつことで、患者の負担を和らげる。「患者は人生をかけて医者を信頼する。その信頼に対して医者は何ができるのか。自らリスクをとって五分と五分の関係を築くこと。それが私備だと思ふ。」
- 不安な気持ちにとらわれると迷いが生まれる
 - 目の前のことだけに集中して作業をしつかりこなすことを意識する
- 「治療法的设计図がないのに、脳動脈瘤などの病気を告知するのは、プロとして卑怯(ひきょう)です。」
 - 問題点を指摘するのは簡単だ。しかし、解決策を探す努力ができない人に、指摘をする権利はない

209

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

自分のスタイルを貫く

写真家・上田義彦



- サムライの真剣勝負
 - 被写体と向き合っても直ぐにシャッターを切らない
 - 待ち続ける事で、被写体の気持ちがあつちゆるむ
 - モデルの演技が透切れる瞬間を待つシャッターを切る
 - いい表情が出るまでひたすら待ち続ける
- 写真に命を宿らせる
 - 命とか瞬間的なことが伝わるのだと信じている
 - 命というものを写真に撮りたい。映像に撮りたい
- 広告写真などチームプレイの中で大切にすること
 - 広告に関わるスタッフたちは、それぞれが自分の仕事を全うしなければならぬ
 - 持っているもの全てをはき出して提示すること
 - 常に何ができるかを考えながら仕事をしよう心にかけている
- 芸術写真は、自分の作品
 - 表現スタイルは静かな控えめな表現
 - 広告に、演劇や音楽や思想が主流であるが広告写真でも自分のスタイルを貫く

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

全身全霊で、ほめる

編集者・石原正康



- 作家からみて作品は子どものようなもの
- 編集者は、作品を世に出す、「助産婦」の役目
- 作家から原稿を受け取ると、すぐさま読む
- 最初の読者として、感想を伝えることが、大事な仕事だ
- 本当にいいと思った点を、言葉を尽くしてほめる
- 心にもないことは絶対に言わない
 - 「言葉に厳しい人たちですから、心に偽ったことを書いてもバレちゃうんです」
- 気になる点があった場合、ほめて伝える
 - 「自分が感じているところについて言っていれば、作家はなぜその部分について言ってくれたのか考えてくれる。そしてほめられた方を伸ばしてくれる」

301

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

考え抜いて人は成長する

経営者・新浪剛志(にいみなみたけし)



- 就任直後、トップダウンのやり方に失敗
- トップダウンは、方向性をトップ(社長)が決めるだけ
 - ダウンのやり方が大切である。個人が考えてやって欲しい
- 社員が考えて失敗しても、バツテンをつけない。
- 失敗してリスクをとらないことが「リスク」になる
- 考えに考え抜いて人は成長する
 - 商品をなぜ売り出すのか、深く考えたのか
 - 商品化を止めるとは言わない
 - 社員が自ら考えた新商品、売り出すかどうか社員に考えさせる。「もっと考えてもらいたい」
 - 一人一人が考えて納得した上で行動する過程が重要

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

“トゲ”のある企画ができるまで

玩具企画開発・横井昭裕



- 企画の命は、トゲである。「トゲ」とは、普通とは違うぞ、という「違和感」のこと。
- 皆が良いというものは、疑ってかかる。トゲがなくなり無難さがつきまとう。しかしトゲだけでは受け入れられない。メジャー8割、マイナー2割
- 平凡な発想も組み合わせればオリジナルとなる
- 原点を貫く
 - 発想した当初のアイデアを決して無くさない。「そもそも何を面白いと思って、この企画をスタートしたのか」それを必ず企画の柱に据える。壁にぶつかったら、原点に戻って考える
- トゲのある企画は、日々の雑談で砕けた雰囲気の中から自由な発想から生まれる。

303

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

日々のトレーニングの意味

海上保安官・寺門嘉之(てらかど よしゆき)



- 事故が起こったときのためにトレーニングを積む
- 1分1秒でも時間を短縮して現場に向かう
- 必ず結果がついてくるような仕事ではない
- 軽々しく「人を救っているぜ」とは言えない
- それだけ重圧を感じているし、責任を果たすべき努力はしていかなければならない
 - 水深30メートルを超えると、ポンペインの窒素成分が体内に溶け出す。正常な意識を保てなくなる
 - トレーニングでは、マスクを外し、あえて危険な状況に自らを追い込む
 - 「自分の能力の限界が不明確だとそれを飛び越えたり。あるいはできるのにあきらめたり」というところがある。限界点は明確なほうがいい。そのための練習といふところまで自分たちを追い込む必要があると思います」

304

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

優等生では面白くない

ウイスキーブレンダー・興水精一(こうみず)



- ウイスキーブレンダーは、ウイスキー原酒を、時には40種類近く組み合わせ(ブレンド、配合する)、味わい深い極上の逸品に仕上げる。「味と香りの指揮者のようなもの」
 - 個性を楽しませる。もっている良さをみる。どう生かすか
- ウイスキー原酒は、大麦などの穀物に水を加え発酵させて、蒸留させて作る。出来たての頃は無色透明
- 原酒を長いものでは30年以上、木の樽(たる)で寝かせると、琥珀(こはく)色のウイスキー原酒に変化
 - 長い年月の間に、樽材や気温などの違いによって、味と香りを変えていく。原酒のままではクセが強すぎる。ほとんどはそのままで飲めるモノではない

305

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

ゴールの向こうには、 新しい自分が待っている

種上コーチ・高野進



- ・ ヒントだけを与え、自らの感覚で答えを探し出させる
 - － どんなに小さくても成長している自分を見つけること
 - － 新しい発見や感動を見つけることを大切にする
- ・ 子どもが独り立ちをし始めた後は、細かいことは言っ
てはいけない
 - － 絵画でもデッサンはきっちり身に付けなければならない。
一通りできれば、後はアートの世界と同じ
 - － 土台作りをしっかりしないと長くできない
- ・ 壁にぶつかった選手へのコーチ指導の姿勢
 - － 慰めない、教えない、鼓舞しない、見捨てない

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

308

創作では無能である自覚

シンガー・ソングライター・スガシカオ



- ・ ほとんど一日で詞を書いてしまう
- ・ 「ホームページにアクセスするみたいな感じで、自分
が別のところにアクセスして、そこで見ているものを
どんだん書いていく」という感覚に陥る
 - － そのスイッチさえ入れば、何の苦勞もなくすらすらと歌詞
ができていく
- ・ 創作活動をする上で、大切にしている言葉
 - － 「自分の作品をかわいがりすぎると、自分が無能であるこ
とを認める」
 - ・ 29歳で退社するまで、企画課に努める会社員をしていた
 - ・ これは、上司から繰り返し言われた言葉
 - ・ 出したアイデアを突き放して考えること。客観性を失わないこと

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

離れたところから見ると

ユニセフ職員 タジキスタン代表・室尾雪絵(もくお)



- ・ 最も重要な仕事は、内戦後に復興しようとしている
政府との協議である。
 - － 発展途上のこの国では、国家予算は主に経済政策や治
安維持に割かれ、子どもの健康に対する意識は高くない。
- ・ 「いつも心に青空を」
 - － どんなに絶望的な状況になっても、投げやりにならず希望
を捨てないでいる。こんな時に「いつも心に青空を」
 - － 出口が見えない時こそ、自分を俯瞰(ふかん)して見ようと
する。世の中にはもっと大きなものがあると思うことにする
 - － 離れたところから見たら、この小さな一歩が大きな意味を
持っているかもしれない

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

309

答えはりんごに聞け

リンゴ農家・木村秋則



- ・ りんごが本来持っている生命力を引き出し、育ちや
すい環境を整えること
 - － 雑草は伸び放題にしている。畑までできるだけ自然の状態に近づけて
いる。これによって豊かな生態系を維持させている。
 - － 害虫は益虫が食べてくれる。害虫が増えすぎたら、手で取る。科学的
に合成された農薬と肥料は使わない。米やトウモロコンを発酵させた
酢を散布して、病気の蔓延を防ぐ。散布はすべて手作業で行う。
- ・ りんご栽培の技術は包み隠さず教える
 - － 技術だけを教えるもうまいかない。技術は心が先に伴ってから、後
からついてくるもの。主人公はりんごの木。ねぎらひの気持ちでりんご
に伝えてやってください。りんごの木は、満身の手で花咲かせたと
思う。壁を越え、一つ越え、また一つ越え、階段を一段ずつあがるよう
な気持ちでいけば必ず実りますよ。

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

309

攻めなければ道は開けない

海獣医師・勝俣悦子



- ・ 「様子見」という言葉は存在しない
 - － この言葉の裏には、「明日、生きているかどうか、確認しま
しょう」という、「逃げ」の意味が見え隠れする
- ・ 何かをしてみることが大切になる
 - － 迷いなく、現場に臨む
 - － 大胆に、かつ繊細に短時間で処置を終わらせる
- ・ 「攻め」の姿勢の裏には、「この命を救う」という強い
覚悟が宿っている
- ・ 動物はいつか死ぬ。死ぬまでの間に、飼育係や獣
医として何かしてあげられたか問われる

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

310

優しさだけでは救済できない

弁護士・村松謙一



- ・ 毎日ひっきりなしに依頼者が訪ねてくる。
- ・ まず考えるのは、経営者の保護である。
 - － 再建したいという気力が残っているか
 - － 命を絶つ恐れはないか
- ・ 依頼者を安心させるために、口調は穏やかであ
る。丹念に話を聞いて、不安を和らげる。
- ・ 優しさだけでは倒産から会社を救済できない。
 - － 徹底して失敗の原因を探る。
 - － 同じ失敗を繰り返さないようにたたき込む
 - － 失敗を見つめさせる
- ・ 企業再建のための合理化プランと一緒に実行

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

311

単純なタッチで心の複雑さを表現

漫画家・浦沢直樹



- ・ 人間は単純じゃない
 - － 単純な線運びでありながら、心の奥の深い感情という
複雑さに迫るための工夫を追求することにこだわる。
 - － 「苦しいのか、悲しいのか、悩んでいるのか、どうとも
とれる表情になればいい顔が描けたと思いますね」



NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

312

登るべき山を示し、一人一人を解放

指揮者・大野和士



- ・ めざすべき音楽的な高みを共有
 - － どんな音色が必要かは教えて言わない
 - － 表情や身体を使ってイメージを共有させる
 - － 指揮者は、自分で音を出せない。「あそこに行
きます。あれがゴールです。解散。というのが
理想」 指揮者がいないがどこにあるのが理想
- ・ 指揮をする際、大きな身振りをしない
 - － 演奏者が、1番自分の弾きたい音を、弾きた
い呼吸で弾いている状況を考える。プレイ
ヤー達が独立した個人として解放されること

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

313

出過ぎた杭は誰にも打てない

コンピュータ研究者・石井裕



- ・ 研究のオリジナリティに挑戦
 - － 実績があっても大きな成果を生み出し続けなければ、
生き残れない熾烈(しれつ)な世界だ。既にある研究
の改良や性能の改善は、決して行わない。
 - － ちがった考えを提示することでみんなの思考を活性
化できる
- ・ Why?(なぜ)
 - － 「なぜ?」という問いは、その研究の根本を問いか
ける質問だと考えているからだ。繰り返される問いかけ
にきちんと答えられなければ、まだそのアイデアは十
分に練られていないアイデアを磨き、インパクトのある
物にするために欠かせない、大切な問いかけ
 - － 「なぜか」という理由は、その人の哲学につながる

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

314

己を捨てて、自分を生かす

庭師・北山安夫



- ・徹底して無駄をそぎ落とした簡素に仕上げる
- ・自然のままの石を組み上げ、涼(りん)とした空間を生み出す
- ・「なんでもないって言うことがすばらしい。盛りだくさんではない。なぜか知らないけども、振り返ってみたいと思う。感じるようだけれど感じていない。感じていないようだけれど感じているって。それをいかにして実践するか」
- ・「もの作りっていうのは決断の塊なんですよ。こうする、ああする。『まあ良いか』では感動なんて絶対相手に与えない」

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

315

責任を分かって行動に移す

専門看護師・北村愛子



- ・自分のやることをわかっていて、本当に責任を持って仕事をする人。そして行動に移す人。考えてばかりいないで、きちんと行動に移す。責任を分かって行動に移すと言うことですね。
- ・クリティカルケア看護を専門分野にしている
 - － 命の危機に瀕(ひん)する患者を看ることが仕事
 - － 生命のギリギリの場所を生きる方向に向かう支援
 - － 生理反応の評価
 - ・意識がない人や重篤で言葉が話せない人にもごく普通に話しかけ、手を握る。そして、呼吸の状態や肌の張りなどから繊細な病状の変化を読み取る
 - － 家族が命と向き合えるように支援

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

316

Muddle throughしろ

技術者・渡辺誠一郎



- ・アメリカのシリコンバレーにて、起業後5年以内に1万社近くが起業し、同じ数だけ倒産する。
- ・起業直後に提携しようとした相手が倒産したり、買収しようとした。自社開発することで倒産を免れた。振り返ると、泥の中に放り入れられたかのように、上下も左右もわからなければ、解決策も見当たらず。出口がどこにあるのかさえも見えない。その泥の中から顔を出すためには、頭で考えているだけではだめで、体を動かさなければならぬ。仲間がいたら行動に移さなければならない。仲間がいたことで抜け切れた。

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

317

人材を育てるのは、人でなく仕事

ベンチャー企業経営者・南場智子



- ・携帯電話のサイトを中心にしたネットビジネスを行うベンチャー企業の経営者である
- ・1人1人に環境やステージを用意するのが人を育てる理念になっている
- ・頻繁に人事異動を行う。チームの大黒柱である、皆が頼りにしているエース社員を躊躇(ちゅうちょ)なく引き抜く。エースを引き抜くことで本気であることを全社員に伝える意味もある。残されたチームのメンバーたちは、穴を埋めるために必死で仕事をし、次の大黒柱が生まれる。常に甘えられない状態におくことで社員たちを育てる

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

318

仕事に関係あることばかりやっていては仕事にならない

映画監督・宮崎駿



- ・自分の脳ミソの中に釣り糸を垂らしているようなものだから。もともと何もないのに、ただむなしく釣り堀に釣り糸を垂らしているんじゃないかという恐怖はいつだってある。それはおれの意識の領域じゃないところで決まるんだもん。
- ・自分でも分からないけど、なんとなくおぼろげにあそこゴールに行きたいなと思いがつついているわけだけど、ゴールに行く道筋がわからないんですよ。
- ・仕事に関係あることばかりやっていたら仕事にならない

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

319

人に運命をゆだねない

映画監督・宮崎駿



- ・38歳の映画監督としてデビューしてから3年間は企画書を出してから通らなかった時期が続いた。
 - ・もののけ姫、となりのトトロ、戦国策(ラピュタの原型)の企画書
- ・「生涯の中で(作品が生まれる)良い時期であった。辛かった。その時にチャンスを与えなかったものたちへ怒りを感じる。その人がこちらの企画を通さなかったといって、恨みに思っているとなんか生まれないことになる。傷つけないように(企画書)をさっさと仕舞う。無傷のまま仕舞っておけばよい。チャンスがあれば、やれるだろう。挫折しない。人に運命をゆだねない。映画の企画なんて決めたことなど決めていない。一々、あの企画が決まってくれば、僕の人生が開けるのにと勝手に敗北ですよ。」

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

320

つながり(絆)が人を支える

中学教師・南場智子



- ・学活や総合学習の中で構成的グループエンカウンターを取り入れて生徒同士のコミュニケーションのきっかけを作っている
- ・人とかかわれば、人は育つ
 - － きっかけは作ってあげるけど、自分たちで変わっていくしかない。成長していくのは、集団の中で育っていく
- ・クラスが上手く機能している目印は、教師がいなくても子どもたちが何か始めている
- ・子どもに接することに際して大切なことは、一人の人間として認め、自分の価値観を語る

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

321

制約に「負ける」ことから独創が生まれる

建築家・隈研吾



- ・“負ける”建築とは
 - － 自己主張するのではなく、周囲の環境に溶け込むような建物を建てること。さらには、予算や敷地などの「制約」を逆手にとって独創的な建物を生み出すこと
 - － 負ける対象は、場所、使う人、建てる人
 - － 負ける対象の気持ちに聞く。聴き取るとする。これをプロジェクトに活かす。
 - ・場所の声を聞く、この場所はどうしてもらいたいのかな。がんじがらめの中に建築のヒントがある。
 - － 負けることで、プロジェクトを強くする
 - － 自分のスタイルを決めてやっていくのは、もういやり方。押しつけたものをほっと置いてください。
- ・人生という制約を楽しめたらいい

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

322

寝て育てると楽しんで仕事をすると

盲導犬訓練士・多和田悟



- ・イヌ語を話す
 - － 人間の言葉を押しつけるのではない
 - － イヌにわかるように意思を伝える
 - ・イヌをよく観察し、状態を分析する
 - － 全体の雰囲気、耳の位置、しっぽの位置、表情の硬さ・ゆるさ
 - － イヌが出来ることからさせていく
 - ・小さな成果を積み重ね行動に結びつける(ハイピング)
- ・寝るにはタイミングがある
 - － 「sit シット」と命令語でイヌを座らせる場合
 - － 座ろうと考えた瞬間、頭を上げた瞬間、「good」という。その瞬間に寝て、その行動が正しいことを教える
 - － 「sit」と声をかける

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

323

あえて、伝えない

バレリーナ・吉田都



- ・自分をひたすら信じる強さを持つ
 - － バレエダンサーの日常は、地味で過酷な練習
 - ・ 毎日変わらぬストレッチ、腹筋を鍛える運動など
 - － 日々のたゆまぬ訓練があってこそ、本番で華やかな舞台に立てる
- ・ 情感を伝えることは、あえて、伝えない
 - － 相手役のダンサーには、自分より若手が増えてきた
 - － 若手が苦勞するのが表現力
 - － 細かい表現力について相手に伝えることはしない
 - － 表現力は1人1人が自分で磨いていくもの
 - － 表現力で苦勞する過程が踊りに出るからこそ生の舞台で踊り続けていくことは面白い

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

324

勝負の決断はこうして下せ

半導体メーカー経営者・坂本幸雄



- ・ 現実を見つめ、できることをやる
 - － 途中で間違いと分かれば、そこで変えればいい
 - － そのときに最高の判断をする
 - － 間違っていたら変える勇気を持つ
- ・ 決断を下すときに大切なのは
 - － 最高の情報を集めること
- ・ 交渉の中で困難にぶつかったときの信念
 - － 共感こそ人を動かす
- ・ リーダーは部下に夢を持たせる存在
 - － この会社にとら自分の生活がもっと良くなると思わせるようにすること

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

325

関係性と自覚性が脳を育む

競馬調教師・藤澤和雄



- ・ 「馬なり調教」
 - － 馬ペースに任せる調教法を心掛けている
 - ・ 競走馬は速く走らせれば、心肺機能や筋力がより高まる。
 - ・ 一方で強く走らせるとケガの可能性が高まる
- ・ 無理させない代わりに
 - － 「歩き運動」を調教の前後に行う
 - ・ 毎日合計2時間、早足で歩かせる
 - ・ 馬房で走らせるため、つられて走る
 - ・ 毎日走るのだから休む
 - ・ 手間暇がかかる作業だが、丈夫で強い馬を作るには時間はかかるものだと考えている
- ・ 「馬の調教は貯金に似てる。たくさんある時にこそっと入れてもダメだ」

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

326

ふとした瞬間に形が思い浮かぶ

装丁家・鈴木成一



- ・ 装丁は、「不要な要素をそぎ落とし、徹底的に本の個性を削り出すことしかないと思う。どんな本であれ、その内容は新しいはず。ならば今までの本と何が違うのか、その個性こそがウリになるはずだと思います。」
 - － 自分を殺し、本の個性に特化する
 - － 読者を引きずり込む・巻き込むもの
 - － 本の内容にヒントがあると考えているので読み込む
- ・ 形が思い浮かばないときは、出来損ないの表紙を傍らに置きながら、別の仕事に没頭し、ふとした瞬間に目に入った瞬間に何を感じるか、その感覚を捉える。無意識でみることを行っている

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

327

じたばたする

工業・空間デザイナー・吉岡徳仁



- ・ 使っている人がどういう気持ちで使うのか
 - － デザインの核となるアイデアを出す
 - ・ 形からデザインを考えない
 - ・ 使う人かどんな気持ちになるのか
 - ・ どんな時間を提供するのかがという観点
 - － アイデアが決まってから具体的なデザインを描く
- ・ あらゆる可能性を試し尽くし、手間という手間をかけた上で、シンプルで奥深いデザインを作りたい
 - － 完成する瞬間までずっとアイデアを出す。これでいいのかな、これでいいのかな、もしその間にもっと良いアイデアがあったら、もう変えられればもっともっと変えたい
 - － 「ちょっとしたこと、すばらしい結果が生まれることもある。思いつくことはすべて試す」

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

328

師匠は弟子の失敗を負う覚悟が必要

宮太工・菊池恭二



- ・ 重圧と向きあえ
 - ・ 徹底してプレッシャーと向き合わせる。
 - ・ 若手にも責任の重い仕事を次々に任せる。
 - ・ 弟子の失敗は、師匠がすべてを負う。師匠に失敗を負う覚悟がなければ、弟子を育てることはできない。
- ・ 棟梁の器は、人生の深さ
 - ・ 人生そのもの、職業そのものが「仕事」につながっていく。その読みで決断を下す。読みができれば、棟梁は読まない。
 - ・ いろいろなものに接しながらつくりながらいろんな思いをしながら失敗もあれば、上手いことなっている部分もあり、その中の積み重ねの中で読んでいるものができてくるものだと思いますね。
- ・ 棟梁に必要なのは、技術力と人間性である。
 - ・ 技術力は年数があればできるようになる。

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

329

人の人生もワインの熟成と同じ

ソムリエ・佐藤陽一



- ・ ソムリエとして目指す生き方は、「熟成」すること
 - ・ ワインはブドウの実を発酵させた後、樽やタンクに入れて変化させ、香りや味を深めていく。
 - ・ 熟成とは、ワインがたまるやタンク、瓶の中で、香りや味を深めていくこと。
 - ・ 時間がたてば必ず熟成するとは限らない。
 - ・ 細菌が混入し「酸敗(さんぱい)」と呼ばれる、酸味が強い状態になるワインもあるのだ。
 - ・ 日々、努力を続けられれば、いつか「熟成」になるかもしれない。サービスとは何かと問われる日々である。
 - ・ ソムリエとは、ワインの知識に精通し、客がワインを選ぶ手助けをするエキスパートのこと。
 - ・ 接客で最も大切にしていることは、客を観察し、客がどのような状態であるか把握すること。

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

330

なるにまかせる

農家・古野隆雄



- ・ 農業を営む上で豊かな作物を作るために土地を肥沃(ひよく)にする必要がある。
 - ・ 次々と生えてくる雑草をとったらよいから農業では、雑草防除が難しい。農業を使わないと大量に雑草が繁殖するのがあたりまえになっていた。
 - ・ アイガモ農法。アイガモは雑草を食べる。農業を使わずに大規模な農作物を作ることができる。アイガモのふんは肥料となり、作物の養分となる。
 - ・ 「人間が全てをコントロールしたり、そういった話じゃないんです。命の連鎖の中に人間が入ってしまっている。人間が作っているんじゃない。忙い時には雑草を放っておく。無理はしない」

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

331

思い込みを捨て、思いつきを捨てる

生物学者・長沼龍



- ・ 辺境の微生物に注目して生命の起源を探る
 - ・ 火山や北極など生命が誕生した環境に近い過酷な環境を調べている
 - ・ 1年の半分以上は調査の出張に費やしている
- ・ 予定していた調査を終えて帰りを支度したが、突然、予定になかった調査を始めた。「ひらめいた」と現場でのひらめきを大切にしている。
- ・ 「思い込みを捨てると何かを得るチャンスを減らしてしまう。直観がさえているのに、最初に決めたことしかやらないと、大事なことを見落とす。これがもったいない」
- ・ 力が入りすぎていては、長く仕事ができない。肩の力を抜き、リラックスして楽しむことが、長く仕事を続け、高見にたどり着けると信じている。楽しむことを意識的に行う

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

332

お互いにイコールの立場での仕事

環境金融コンサルタント・吉高まり



- ・環境金融コンサルタント
- ・排出権ビジネスは、1997年の京都議定書に始まる
- ・先進国には、一酸化炭素などの温室効果ガスの削減を義務づけられた。発展途上国には、その義務がない
- ・地球温暖化対策として「排出権」の取引をする
- ・排出権とは、二酸化炭素などの温室効果ガスを排出できる権利である
- ・各国が、温室ガスを減らすプランを生み出し、排出権を売るプランを考えるビジネスをしている
- ・途上国の温室効果ガスの削減分を先進国が購入し、自国の削減分として使うことができる。「排出権取引」をしている
- ・一方のメリットだけを優先すれば、事業はうまく行かない
- ・「お互いにイコールの立場で、フェアな形で仕事をしたいというのがあります。そのほうが信頼関係も生まれる」

333

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

まっすぐに聞き、まっすぐに見る

校長・荒瀬克己



- ・全身全霊で向き合うこと
- ・しんどい時はしんどいでいい
- ・泣きたいときは泣いたらいい
- ・やるべきときに、やるべき場所にて、やるべき事をする
- ・言うべきときに、言うべき場所にて、言うべき事を言う
- ・それができればいいが、なかなか難しい
- ・ほんやりと見る
- ・折りをみて校内を漂うように歩いて生徒や先生に気軽に話しかけては、表情や雰囲気を見る
- ・学校内の空気を感じ取るうとする
- ・満中に入ると見えなくなるといふのがあるでしょう。だから、リーダーは満中に入っていない

334

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

仕事は習熟せず、新しい気持ちで

文化財修理技術者・鈴木 裕



- ・修行時代は、仕事は体で覚えると言われていた
- ・経験を積むと、体で覚えた技術に頼り、頭で考えることなく手先だけで機械的に仕事をしている自分に気づいた
- ・どれだけ慣れ親しんだ仕事であっても、決して「習熟」せず、その都度、新たな気持ちで臨み、常に考えながら手を動かすことが、良い仕事をする秘訣
- ・考えながら修復をする
- ・考えながら手を下す
- ・文化財は一つ一つがすべて違う
- ・つくられた時代背景、材質、痛み具合
- ・そのすべてと向き合い考え尽くす

335

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

満足したらいい、満足した後には何かが出てくる。

到達したら次に何かが見えてくる

メジャーリーガー(野球選手)・イチロー



- ・試合前の準備、練習メニュー、試合中の身体の動かし方に至るまで、厳密に同じことであることだ。決められた所作をこなすことで、次第にスイッチが入っていく。バッテリーボックスに立ったときに集中力が極限までに研ぎ込まれる
- ・動き出す時間、ストレッチの時間が決まっている。緩所にこなしていくと、スイッチが入ってくる。所作が決まっているのは、柔道、剣道、茶道などと似ている
- ・メジャーリーグ記録を塗り替えることに対する重圧について
- ・精神には限界がある。限界だと思った。幾度となく追い込まれてきた。何となく思いの背負ってプレーし続けてきた。記録を作ってきた。超えるように見えるよね。でも超えていないんだよね。プレッシャーはかかる。逃がけない。重圧から逃げず自らプレッシャーをかけに行き新しいものを見つける

336

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

二人で新たな地平へ宿命の対決

名人戦・森内俊之 対 羽生善治



- ・羽生は、4期連続で名人の座を守っている森内対長年のライバルである羽生との戦い
- ・羽生「今までの定跡が絶対だと思わない方がいい。信じ切っている状態だとアイデアって浮かばなくて、むしろ全部忘れ去って考えた方が浮かんでくる」
- ・森内は羽生よりも先に名人位達算5期で「永世名人」の資格を得た。羽生に対する劣等感を吹っ切り、形よりも自分の将棋を追求しようとしている
- ・森内「知らない局面でこそ、その人が持っているものが問われる」
- ・羽生「予期せぬことにどれだけ出金えるかが一番おもしろいところ」

337

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

つきつめろ、そして、つきめけろ

科学者・小池康博



- ・研究の壁にぶち当たると、研究の原点に立ち
- ・色々の要素やブラックボックスが出てくる
- ・その時は、根本を見つめ直す
- ・遠回りするようで実は真理に近づく近道と信じている
- ・根本的な事柄に疑問を持つことがブレイクスルーにつながる
- ・わき上がる直感に従う方が
- ・常識にとらわれず革新的な成果が出ると考えて
- ・一般的に科学では理屈で考えがち

338

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

選手の一步前を、歩く

競泳コーチ・平井伯昌



- ・コーチの仕事は、技術面でも、精神面でも選手をリードし、引っぱり続けること
- ・それぞれの選手のベストなフォームを脳裏に焼き付け、理想のフォームと、今のフォームを比較し、どこがどう崩れているのかを瞬時に見極める
- ・選手には、ワンポイントで伝える
- ・指示を出しすぎると余計選手が疲れる
- ・選手の性格を考えて、最適な一言を選んで指示を送る
- ・常に先回りして課題を研究している
- ・決して速いや動揺を見せないよう、必死で自分を抑える
- ・常に自らを抑え、選手を冷静にさせてきた

339

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

人の心と心をつないでこそ、京菓子

京菓子司・山口富藏



- ・京菓子は、限られた素材と決められた製法から生み出される。『遊び心で楽しむ菓子』
- ・茶会を聞く亭主からの依頼があったときに、その亭主がどのような趣向で開催するのかを客に伝える役目として機能を果たすものとしてお菓子を位面づけている。亭主の好みや招かれている客層を聞いて、茶会の背景をおさえたお菓子のデザインを創造している
- ・一期一会「茶会での出合いは、一生に一度きりのものだ」と心得、二度と巡って来ない一度きりの出合いのために誠意を尽くせ」と千利休が説いたと言われる茶道の心得
- ・菓子司の身分も一期一会である
- ・「菓子は食べてしまったら消えますやん。残る仕事やない。それだけに一つひとつ心してないといけない」

340

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

命を救うだけが医者の仕事ではない

大腸内視鏡医・工藤達英



- ・大腸がんは早期発見できれば100%治るといわれている
- ・命を救うだけが医者でない。患者の人生を守ることも大切な役目
- ・処置において身体への負担を少なくすることが生活を守ることになる
- ・できる限り早くがんを発見する「診断力」をつける
- ・最低限の治療を行う
- ・患者を自分の家族だつたらと考えて方針を考える
- ・何が最良で最善の策かを考える

341

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

近づいてくるのを待つ、観ること

動物園飼育員・細田孝久



- ・ とことん、観る
 - ・ 動物たちの小さな異変を見逃さない工夫
 - ・ 同じ動物には、同じ時刻に、接して観る
 - ・ なるべく同じ服、同じ匂いで動物に接する
- ・ 動物と初対面で仲良くなるには
 - ・ 人間側から手を出さないこと。
 - ・ 基本的には、動物の好奇心が湧いて、向こうから自然に来るのを待つのが良い
- ・ 「念のために」を惜しまない
 - ・ 判断を誤った勘違いが生じた場合を想定して準備をする
 - ・ “ムダ”かもしれないが、あらゆる可能性を考えて行動

342

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

素直に演じる。無駄をそぎ落とす

落語家・柳家小三治



- ・ 笑わせるのではない、つい笑ってしまうのが本物の芸
- ・ 落語自体が持っている面白さを素直に演じること、無理やりうけようとしな。奇をてらわない
- ・ 芸が大きい、派手にならないように。芸から無駄をそぎ落とすように、常に自らの気持ちと戦っている。人の暮らしが面白いので、面白い人の暮らしをそのまま現しているのが落語だと思
- ・ 人生すべてが人柄に出る
 - ・ お客さんは、落語家の人柄を聴きにやってくる
 - ・ 何もかもはぎ取ってしまったその人柄

343

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

相手の世界にお邪魔する

認知症介護・グループホーム長 大谷るみ子



- ・ 声をかけながら、表情や動きに目をこらす。
- ・ お年寄りの傍らに寄り添うように座る。
- ・ 同じ姿勢をとりながら、相手の気持ちに自分を近づける。
- ・ 相手と向き合うとき、「あなたは、とても大切な人」という思いで接する
- ・ 研修に行ったデンマークでいわれたこと
 - ・ グループホームには、人生のリュックサックを背負っていらつしやる。そのリュックサックの中身を知ることから介護が始まる
- ・ 自分の力を精一杯発揮しながら暮らし続けられるように支える
- ・ 認知症になり、様々な能力が失われても「感じる心」は残っている。暮れたり、大声を上げるのは心の苦しみの表れだと考えられている

344

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

最善のものだったか、自問自答

騎手・武豊



- ・ 馬を気持ちよく走らせることをなにより大切にしている。
- ・ 馬の負担を減らそうと、膝や足首をサスペンションのように使い、体の上下動を抑える。さらに馬への私事も最小限にして、馬に余計な気をさせない。
 - ・ 騎乗の姿勢は、鎧(あぶみ)に、親指の付け根の辺りの部分を乗せているだけ。土踏まずやお尻は接地しない
 - ・ 騎手が感情を出すすと馬に影響を与えるので感情を直前には出さないようにしている。
- ・ 最高の騎乗は何なのか、いい騎手になりたい
 - ・ どんな小さなレースでもビデオで自分の騎乗を見直す。最善のものだったのか、自問自答を繰り返す

345

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

“いい人生やった” その一言のために

名田庄診療所所長・中村伸一



- ・ 病でなく、人を診る
 - ・ 地域の気候や風土を熟知
 - ・ 症状や痛みを抑えることがすべてという治療ではなく、患者一人一人がいきいきと過ごすためには何か必要かを考える
 - ・ 訪れる人の嗜好、趣味、生活、そして人生そのものを知り、共感しているから出来る診断がある
- ・ 在宅医療を実現するためのシステム作り
 - ・ 行政を巻き込んだ。ケアマネジャーやヘルパーなどの介護スタッフ、保健師などと緊密に連携し、三位一体で患者と家族を支える

346

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

山に教わる。答えは、山に聞け

森林再生・湯浅龍



- ・ 日々荒れた森に分け入る
- ・ 100年先の森の姿を想像して、太く育つ木々を選び、その成長を阻害する周囲の木々を伐採する
- ・ 地形を慎重に見極める
 - ・ 地中深く根を張っていること
 - ・ 土砂崩れから森を守っていること
- ・ 職場環境を改善するための提言
 - ・ 「みんなの能力を、もてる能力を最大限に出してほしい。そのためには、責任を持たせなければ能力は出せません」

347

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

モノに語らせる

考古学者・杉山三郎



- ・ 定説を覆す新発見を次々と成し遂げてきた
- ・ 数百年がかりの測量
 - ・ 遺跡の形や方位を詳細に調べる
- ・ 周辺から掘り出した出土品(骨や副葬品)を分析
 - ・ 出土した状態を精密にスケッチする(写真も撮る)
 - ・ 位置や向きが何を意味しているのか
- ・ どこを掘るべきか、ピンポイントで狙いを定めていく
- ・ 「モノから語らせることを僕は聞かなくちゃいけない。自分の理論、自分の考え、自分の解釈をそこに当てはめようとしてはいけない。純粋な気持ちになって、そのモノが語ってくるのを読み取る。」

348

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

共に空を飛ぶ

航空管制官・堀井不二夫



- ・ 管制官の業務は、離着陸の許可、レーダーを用いて航空機を誘導すること。データを元に目視で判断する
 - ・ 空港から100km圏内の航空機に指示
 - ・ 風向き、強さによって速度を変える
 - ・ 落ち着いた口調で、適切なタイミングで指示。パイロットの緊張を和らげる。パイロットのサポートを全力で行い、操縦に専念してもらうこと。「共に空を飛ぶ」
- ・ 現場の雰囲気作り 自分を権力者にならない
 - ・ 一人一人が自分で考え、リーダーを特別扱いしないことが重大な事故を防ぐ。何か起こった際もリーダーの指示を待つのではなく、自分たちの判断で機動に動き、連携して立ち向かう。
 - ・ メンバーが考えて、リーダーに了解を求めている
 - ・ 「あの人はきっと間違いないはずがないと思っちゃうと間違えうときがあるから、そういうのも、上の人であっていてもいえる雰囲気づくり。人が違うなと思ったことは、口に出して言える雰囲気作りは大事だと思っています。」

349

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

強い好奇心と探求心

料理人・西健一郎



- ・ おいしい料理には、それなりの理由がある
 - ・ ロにした料理、どうしてこんなにおいしいのかと思うと気になる
 - ・ 「そうやって何となくヨロヨロして、いろいろ見ています」
- ・ 奥深い味の秘密
- ・ 徹底的に「手間をかける」こと。
- ・ だしと食材を合わせる場合..
 - ・ 食材への下ごしらえを入念に行う。
 - ・ だしを受け入れる体制を整える
- ・ だしと合わせる際には、じゃこを加える
 - ・ 風味を引き出すための「もう一手間」

350

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

使命に身をゆだねられること

牧師・ホームレス支援・奥田知志



- 私たちはホームレス支援をしているのではない。一人一人を支援している
- ホームレスは、単に衣食住(ハウス)を失ったのではなく、ハウスレス、家族などの人間関係(ホーム)での絆(きずな)を失っている。
- 「無理するな、楽するな」を信条
 - 相手をときに温かく包み込み、ときに厳しくしかる。そして、自立した後も関わり続ける。
- 人は、いつか変わる
 - どんな相手にも関わり続けられれば、いつか何かが変わるという希望がある

351

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

予測しながら守備を行う

サッカー日本代表キャプテン・中澤佑二



- 守備や攻撃といった技術的なプレーを越えた働きかけが試合の流れを変える
- チームがピンチに陥った時に仲間を奮起させるプレーをする
 - 不利な状況にあるチームメートに対し、声を張り上げて士気を高める
- 気持ちのこもったプレーで悪い流れを断ち切る。このプレーでチームメートの顔色が変わる。
- 体でぶつかりボールを奪うことだけがディフェンスの仕事ではない。
 - 常に相手の攻撃がどこに来るか予測しながら守備を行う。
 - 「ディフェンダーは常に冷静でいなければならぬ。相手がどこへ出されても、自分は必ずそれを予測している状況を作っておきたいですね。」

352

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

一人の考えでは過去にとらわれる

建築家・伊東豊雄



- 建築には、新しさだけを追い求めているのではない。そこに居る人が自由に振る舞える空間を目指している。
- 設計にはチームで考えて臨むことを重要視
 - 1人の考えでは過去の方法にとらわれてしまう。設計はまず、大きな方向性を抽象的な言葉で示す。個々人がイメージをふくらませスケッチを描く。スケッチを元に個々人のアイデアを持ち寄る。チームで議論しながら建築へと練り上げていく。このような過程により、当初の想定を上回る新たな建築が生まれてくるという。

353

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

お任せください、一生懸命やりますから

血管外科医・大木隆生



- 手術がどんなに難しい場合でも、可能な限り引き受ける。リスクを伝えた上で「お任せください。一生懸命やりますから」と伝える。医師としての覚悟を示すことで信頼関係を構築する第一歩となる。
- 「世界一喜ばれる人になりたい」という思いで朝から晩まで手術台に向かい続ける。

354

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

目の前の現実、答えがある

NGO日本紛争予防センター事務局長・瀬谷ルミ子



- 紛争地へ赴きDDR(武装解除・動員解除・社会復帰)と呼ばれる国家規模の武装解除を担当している。武器を回収、治安を回復させ、舞台を解体させて兵員を除隊させる。元兵士を活用して国の復興へと導くこともある。
- 国連職員や外務省職員の立場に関わった経験から独立し、フリーの専門家になった。現在は国連からの要請で関わる。現地へ赴き、現実の中から答えを見つけ出すようにしている。紛争後の状況は国毎に異なる。現地を見ずして、本当に必要な支援が分からない

355

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

目の前の事実をまっすぐ見る

材料科学者・堀野秀雄



- 現場主義を徹底している。キャンパス内にある5つの実験室を一日中歩き回っている。
- 研究テーマは決めるが進め方は研究員の発想に任せている。「研究の現場に、立場や年齢による上下関係はない。自分自身も若い人の影響を受けている。お互いに切磋琢磨してこそ、研究が前進する」
- プロの研究とは、「エンジョイ+勝てる」ことでエンジョイだけでは科学愛好家である。

356

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

修羅場でこそ、冷静に

救急医・松本 尚



- 重症の患者が生命の危険が切迫している中ドクターヘリに医師が乗って現場に向かう。限られた時間の中、点滴、気道確保、止血など医療行為の優先順位を冷静に判断し、メンバーに指示を出す。
- 「やらなければいけないことが本当に必要に必要な判断をしている」
- 救急患者は、病態の急変の可能性がある。その変化に対応し、適切な処置を求められる。ある程度乗り越えたら、様子を見て再度時間をあてて処置したり、他の専門医が対応する

357

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

自分の根っこまで掘れば「普遍」がある

漫画家・井上雄彦



- 「ネーム作り」に最も悩む。ネームとは、物語の展開を考えてコマを割り、絵の構図やキャラクターの動き・セリフなどを大まかに書き記したものの。漫画の骨格となっている。キャラクターが何をしたいのか、どんな人生を歩いてきたのかと、ひたむきにキャラクターに向き合って、考え抜いて、ストーリーを紡ぎ出す
- 自分の経験していることしか描けません。自分の奥を掘って、掘って、掘っています。でも、根っこまで掘れば、『普遍』があるんじゃないかと思うんです」

358

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

立ち止まり、適正規模で行う

酪農家・三友盛行



- 牛の頭数を増やして規模を拡大することが成長の証と考えて努力する酪農家が多い
- しかし牛の数は地域の平均の半分以下で、自然に逆らわないで規模拡大を目指す
- えさや設備投資の経費を少なくし、小規模であるが利益が上がる酪農を実践している。
- 「これからはさ、増やす喜びまで来たらんだから、減らす喜びに触れなきゃ。それが結局、適正規模のさ」効率に背を向ける
- マイペース酪農：増やさない。無理をしない。身の丈のなかでやっていく。

359

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

すべての働く人は、尊ばれるべきだ

弁護士・村田浩治

- ・派遣切りに対する相談依頼が持ち込まれる。
- ・長時間かけて事細かに勤務実態を聴く。
- ・難しい労働問題にこだわって仕事をしてきた。あらゆる手段を総動員して問題を解決しようとする。企業とも粘り強く交渉する。
- ・11歳で町工場を営んでいた父親が亡くなり、兄が跡を継いだ工場の仕事を手伝った。
- ・「働く人は、えらい」
- ・「どんな仕事であっても、たくさんの時間を費やし身をすり減らして働くことは、最も尊ばれているのではないか」



360

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

変えるのではなく、変わるのを待つ

小売り再建コンサルタント・大久保恒夫

- ・自ら考え、動く“人”を育てる。刻々と変化する客のニーズに応じていくためには、現場の一人一人が自主的に考え行動できるようにする。
- ・現場に置いて課題を見つけるが、その場で直接注意しない。
- ・現場に権限を与え、本部と店の間に立つ専門スタッフを強化する。
- ・現場をサポートする体制を整える。
- ・ただ現場に任せるのではなく、本部の方針や指示は明確にする。組織としてのルールを通して全体に伝える。
- ・進むべき道ははっきり示した上で、方法はそれぞれの人が任せる。そうやって従業員の手を引っ張っていく。



361

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

心が動けば、体は動く

作業療法士・藤原 茂

- ・バリアフリーでなく、バリアアリー。居住空間の中で、バリアのあるように環境を設定して、日常動作の訓練を生活の中で自然に行えるようにする。
- ・娯楽や趣味など、「やってみよう」「楽しそう」と思わせるような活動をリハビリのメニューに盛り込む。やりたいことに一生懸命打ち込んでいく中で、自然と体をどんどん動かすようになって、結果的に機能の回復につながる。
- ・むきになる。私はあなたのことを放っておけないんです。という感情が伝わるためにむきになる。



362

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

客の目線になりきる

インテリアデザイナー・片山正通

- ・「店の骨格づくり」は何度も図面を手書き。ソーニング：売り場の形を決め、棚や商品の配置。修正を何度もくり返した図面から形や色を忠実に再現した模型でさらに検証。自分が客ならどう動くか、何度も自問自答しながら、思わず入ってしまい、長く滞在してしまう客の動き「動線」を作り出す。
- ・自分自身が客として店をめぐるときに、どういうところがうれしく、悲かれるのか、どういう気持ちになるのかを、敏感に感じ取っているそう。
- ・「だから、わかるんですよ。一番良い店は、店のデザインがどうだったかなくて、楽しんで忘れてしまうような店なんですよ」



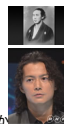
363

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

裸になって自分をさらす

坂本龍馬を演ずる福山雅治

- ・裸になって自分をさらす。ミラ・ニューロンは、自分のやることは、鏡に映したように相手の脳の神経細胞で表現されるといわれている仕組み。
- ・すべてをさらけ出して相手と向き合うこと。ミラ・ニューロンの働きによって相手の警戒心をほどかせる事につながり、結果的に人ひとの心をつかみ、時代を動かしたと脳科学の観点から説明できる。
- ・決めてかからない。大河ドラマ「龍馬伝」で主役の坂本龍馬役に挑む福山雅治。役作りにあたっては決めてかからないことを大切にしている。事前に一人で芝居を固めず、あえて台本をあいまいに記憶して撮影現場に入ること、演出家の意向の変化に柔軟に対応したり、共演者と芝居を合わせてみた時によりクリエイティブな試みに挑む事ができるという。



364

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

ベストを尽くして、我慢する

農家・片山正通

- ・農業を使わない有機農業は、疫病や害虫などの影響で毎年豊作になる事は難しい。作物になにがしかの不調が生じた場合、すぐに考えられるあらゆる手を打った上で、その結果を天にゆだねる。自然とは完全にはコントロールできないもの。それと戦うのではなく、我慢してつきあう事が必要なのだ。
- ・作物の「声」を聞く。「声」と呼ぶのは、種まきの時期や育て方など作物たちに適したタイミングや、作物からのサイン。その声に応じて人間の都合で作物と接すると、決してよい結果が生まれないと考えている。土に栄養がしっかりとあり、作物の声を耳を傾けて育てれば、人間は多く手をかけることなく、少し手伝うような作業だけで大きな収穫が得られる。



365

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

自分にできることは、限られている

研究者・浅川智恵子

- ・14歳の時に事故が原因で失明し、一人で出来ることが制約されている人生と向かい続けた。研究テーマは、ITバリアフリー。といって視覚障害者や高齢者や学ぶ機会が無いために文字が読めない人に対して、IT技術によって、情報を入手できるようにすること。
- ・ホームページを音声で読み上げるソフトウェアの開発を手がけてきた。
- ・多くの人の力を最終させることで、一人では思い付かなかったような斬新な研究が生まれる事を確信している。
- ・研究で大事なものは、わくわくするような可能性である。実現可能性にとらわれていては、画期的な発想は生まれない。



366

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

大切なのは技術ではなく、何がこの人のために出来るのか

移植外科医・加藤友則

- ・世界各地から重篤（じゅうとく）な患者がやってくる。臓器が機能しなくなり、根本的な治療は不可能と告げられた人々に移植手術を行う。機能しなくなった臓器を切除し、脳死した人や親族などから提供された健康な臓器と入れ替える。しかし、移植手術にはリスクが付きもの。患者は拒絶反応を抑えるため、免疫抑制剤を飲み続けなければならない。命にかかわる合併症の危険も低くない。大切になっているのが医師と患者が共に闘う姿勢。手術の速さを競うのではなく、回復の早さを大切にしている。



367

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

現場の感覚を大事にするため出かける日々

鉄道ダイヤ作成・牛田賢平

- ・与えられたことをまっとうするために出来ることをとことんやる。鉄道ダイヤ作成（スジ屋）の大きな仕事はダイヤ改正のために、列車運行表を作ること。中には1日のすべての列車の動きが書き込まれ、600以上の「スジ」がひかれている。表を作る際に最も大切にしているのは、これまでの実績ややり方にとらわれず、駅や客（現場）の変化に常に向き合い、そこから考えること。



368

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

心を癒し、自信を取り戻す場所

高校教師・岡田倫代

・定時制高校は、働く若者に高校教育の機会を与えるために創設された。昨今は不登校などの理由で全日制高校に進まなかった生徒や、高校を退学した生徒などさまざまな若者が集まり、定職に就いているのは少ないところもある。

・「ピアサポート」と呼ばれる課外授業(教育プログラム)を行っている。悩んでいる仲間がいた時にどう接しどう支えればよいかを教えていく。仲間を支える技術を学ぶうちに、実際に、支えあい関係が生まれる。「自分は誰かの役に立っている」という思いが育まれる。



369

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

知の異種格闘技

生命科学者・上田泰己

今、20を超えるプロジェクトを組み、生命の謎に挑んでいる。大きな謎と向き合うとき、大切にしているのが徹底したディスカッションだ。さまざまな分野の専門家(数学、医学、工学、情報学、統計物理学、生化学、発生学など)たちがチームを超え、ひとつの問題に違う視点から切り込んでいく。専門が違うからこそ見える問題点。そこから突拍子もないアイデアが生まれる。違う視点をぶつけあうことで思いがけない化学反応が起き、斬新な研究につながる。



370

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀

山に謙虚であれ

山岳警備隊・山田智敏

山のことは素人同然で山岳警備隊に入隊。そこで出会った山小屋の主人など、山で働く男たちの教えを受けながら、成長していく。その中の1人、伝説の山男が言った「山は怖い」という言葉。おそれの念を抱き、自分の小ささを認めなければ、最善の救助はできないという強い信念が生まれた。

また「山を知れ」とも言われた。山が怖いからこそ山のこともっと観察して知ろうとした。休日返上で山を歩き、山を見た。雪の具合や道の状態など知ればしるほど山の怖さが分かってきた。



371

NHK放映 プロフェッショナル 仕事の流儀